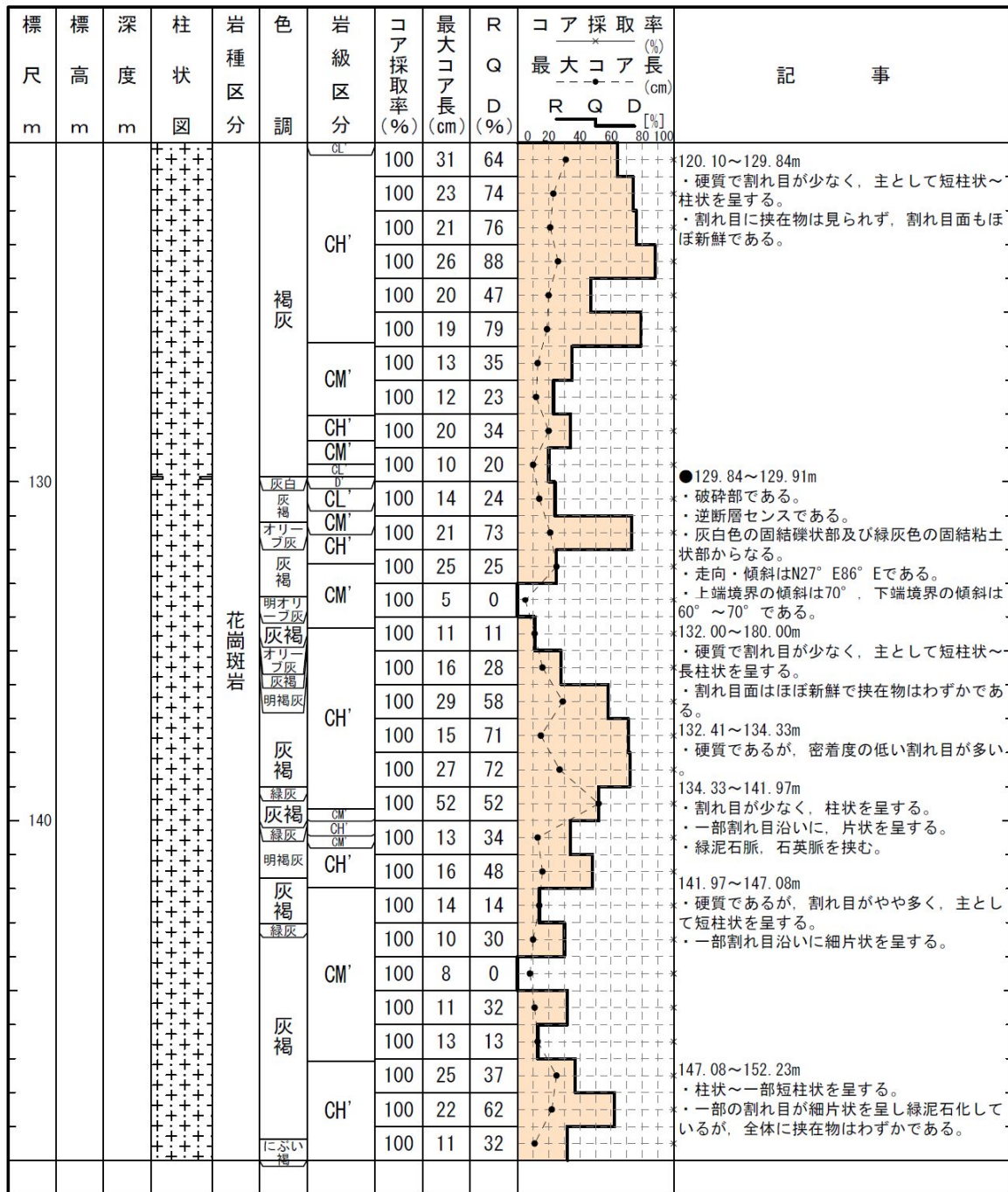


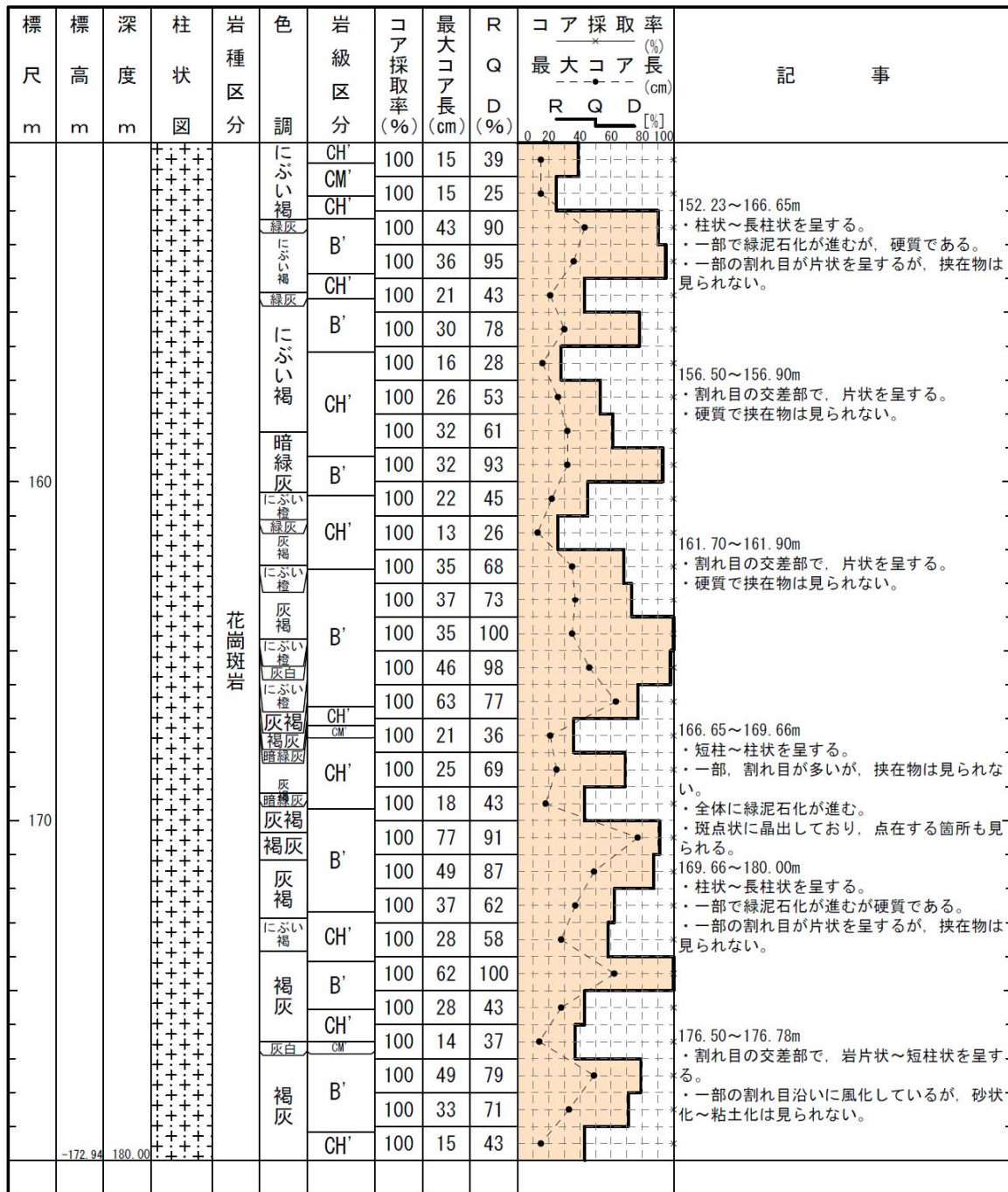
H27-B-3

柱状図(120.00m~150.00m)



H27-B-3

柱状図(150.00m~180.00m)

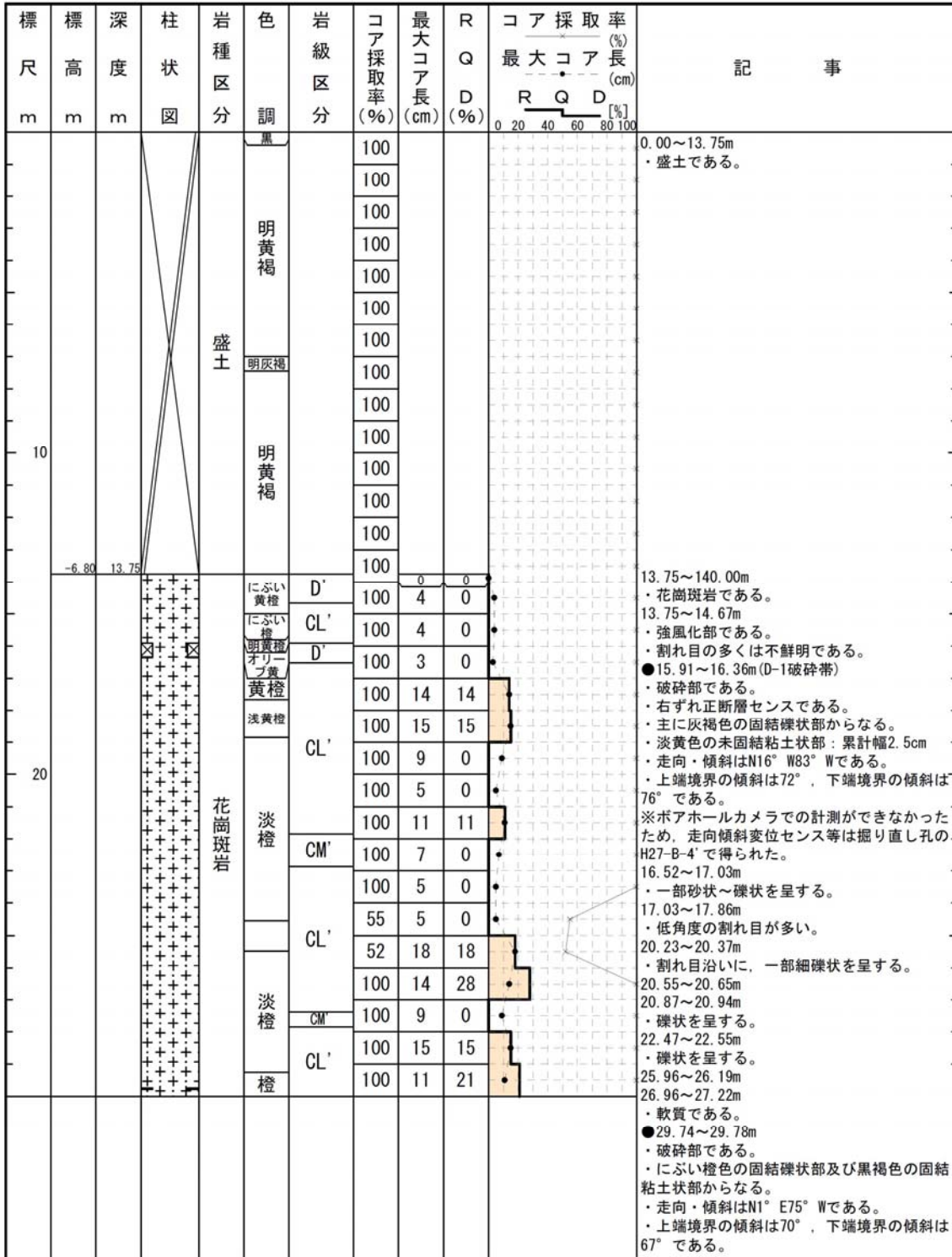


H27-B-4

柱状図(0.00m~30.00m)

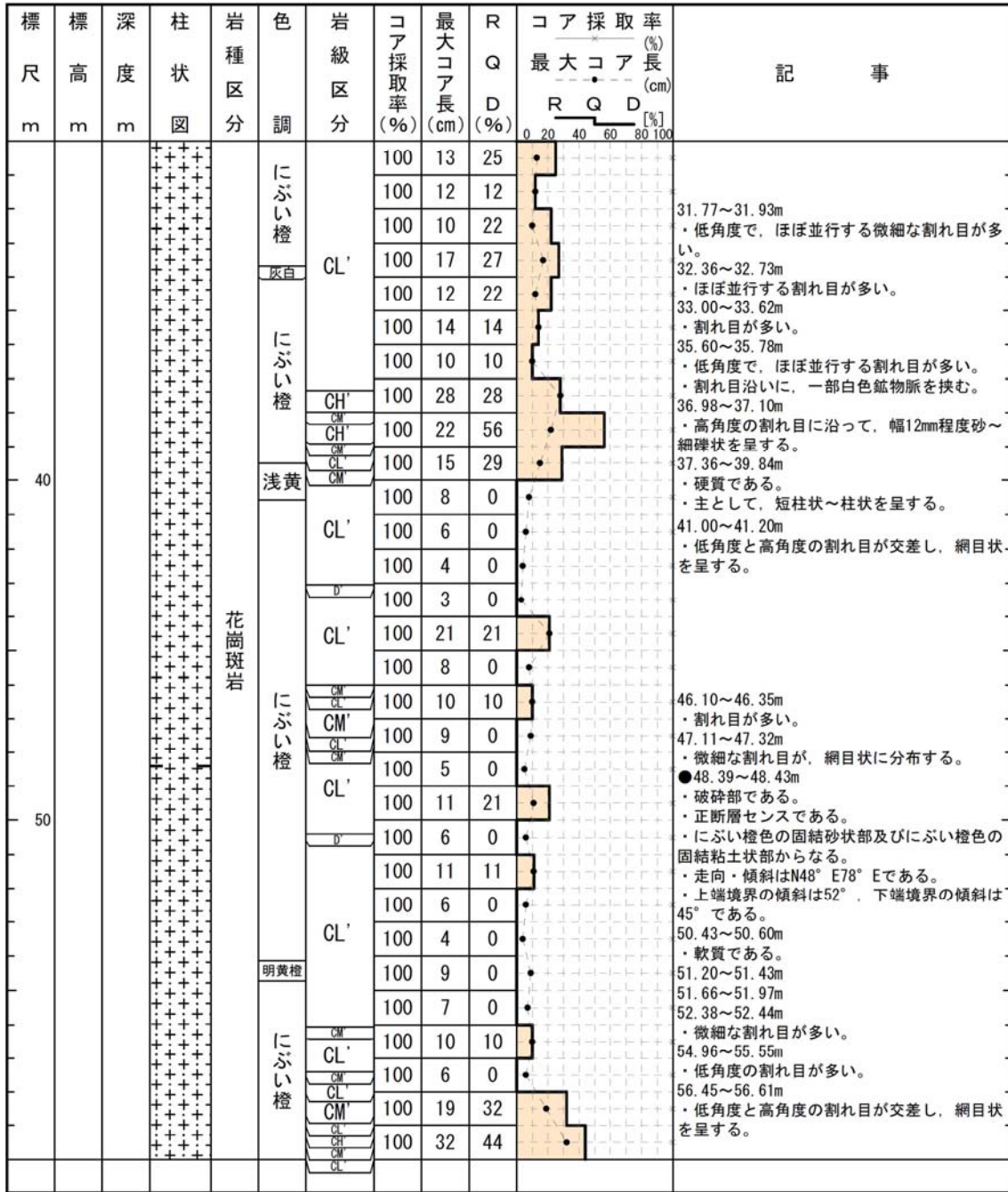
H27-B-4

孔 口 標 高	T.P.	6.95m	掘 削 長	140.00m
---------	------	-------	-------	---------



H27-B-4

柱状図(30.00m~60.00m)



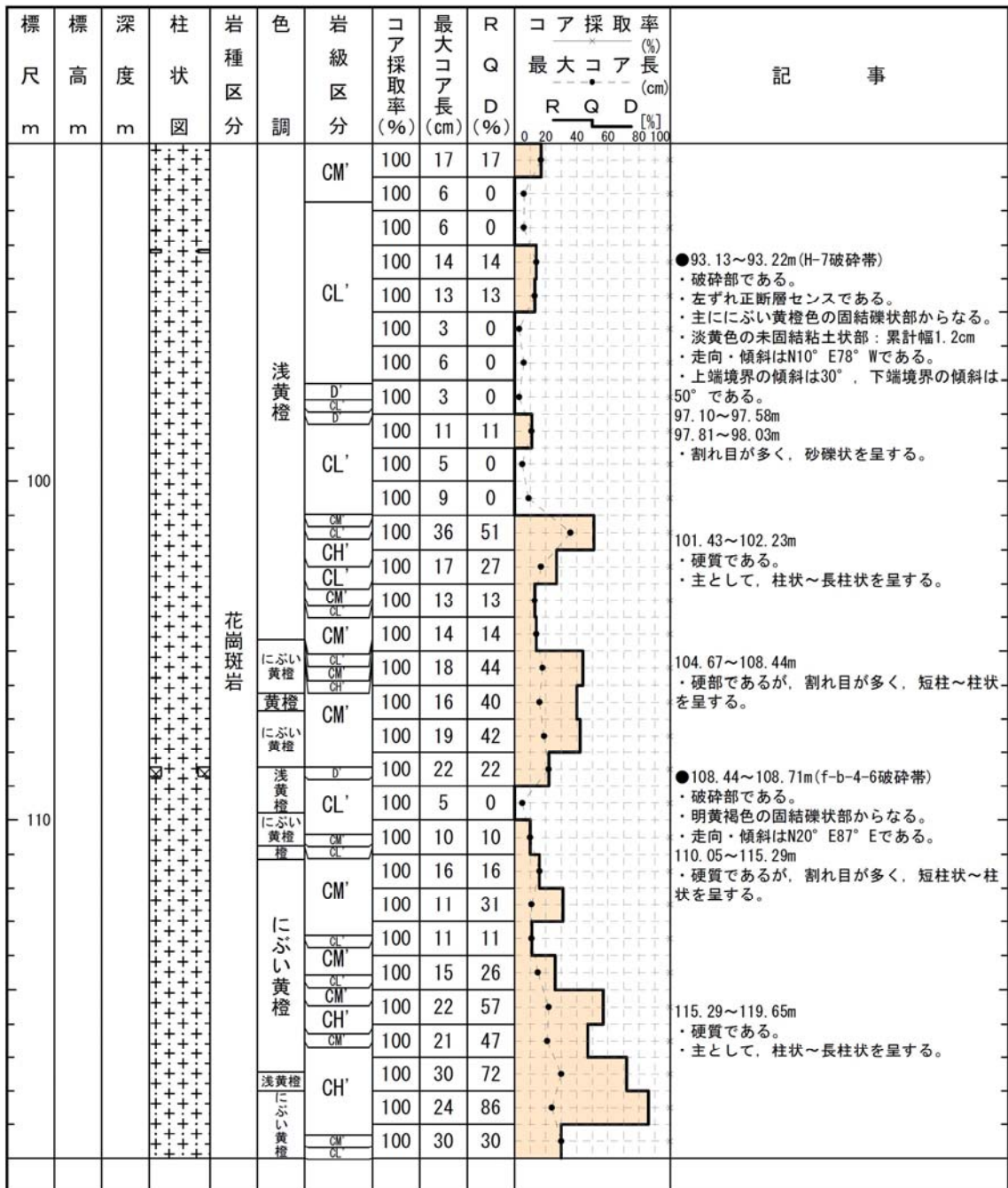
H27-B-4

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事	
										最大コア長 (cm)	コア長 (cm)		
70			+	花崗斑岩		にぶい橙	CL'	100	4	0		<p>60.07~60.45m 60.82~61.72m ・微細な割れ目が多い。</p> <p>63.90~64.30m ・変質している。 ・軟質化しており、割れ目は不鮮明である。</p> <p>●64.65~64.91m(H-6c破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E87° Eである。 ・上端境界の傾斜は65°、下端境界の傾斜は65°である。</p> <p>●65.59~65.72m ・破碎部である。 ・褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はNS78° Wである。 ・上端境界の傾斜は65°、下端境界の傾斜は62°である。</p> <p>67.28~67.75m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。 68.97~69.08m ・砂状~細礫状を呈する。 75.05~75.29m ・ほぼ並行する低角度の割れ目が多い。</p> <p>80.13~80.29m ・同方向の割れ目が多い。</p> <p>83.32~84.05m ・硬質であるが、割れ目が多く、短柱状~柱状を呈する。 84.09~84.77m ・割れ目が多く、軟質化している。</p> <p>86.14~88.26m ・硬質である。 ・主として、柱状~長柱状を呈する。</p> <p>89.27~89.44m ・微細な割れ目が多い。</p>	
							CL'	100	3	0			
							CL'	100	3	0			
							CL'	100	6	0			
							黄橙						
							にぶい橙	D'	100	4			0
							褐灰	CL'	100	3			0
							灰黄褐	CL'	100	3			0
							灰白	D'	100	3			0
							にぶい橙	CL'	100	2			0
							にぶい橙	D'	100	3			0
							淡橙	CL'	100	9			0
							淡橙	CL'	100	5			0
							淡橙	CL'	100	5			0
							淡橙	CL'	100	8			0
							淡橙	CL'	100	7			0
							淡橙	CL'	100	6			0
							淡橙	CL'	100	8			0
							淡橙	CL'	100	6			0
							淡橙	CM	100	13			13
淡橙	CL'	100	14	14									
淡橙	CL'	100	13	24									
淡橙	CM	100	15	26									
淡橙	CL'	100	13	13									
淡橙	CM'	100	12	34									
にぶい橙	CL'	100	8	0									
にぶい橙	CL'	100	9	0									
にぶい橙	CM'	100	13	23									
にぶい橙	D'	100	23	62									
にぶい橙	CL'	100	13	24									
にぶい橙	CL'	100	13	24									
にぶい橙	CM	100	8	20									
淡黄橙	CL'	100	8	20									
淡黄橙	CL'	100	8	20									
淡黄橙	CM	100	8	20									

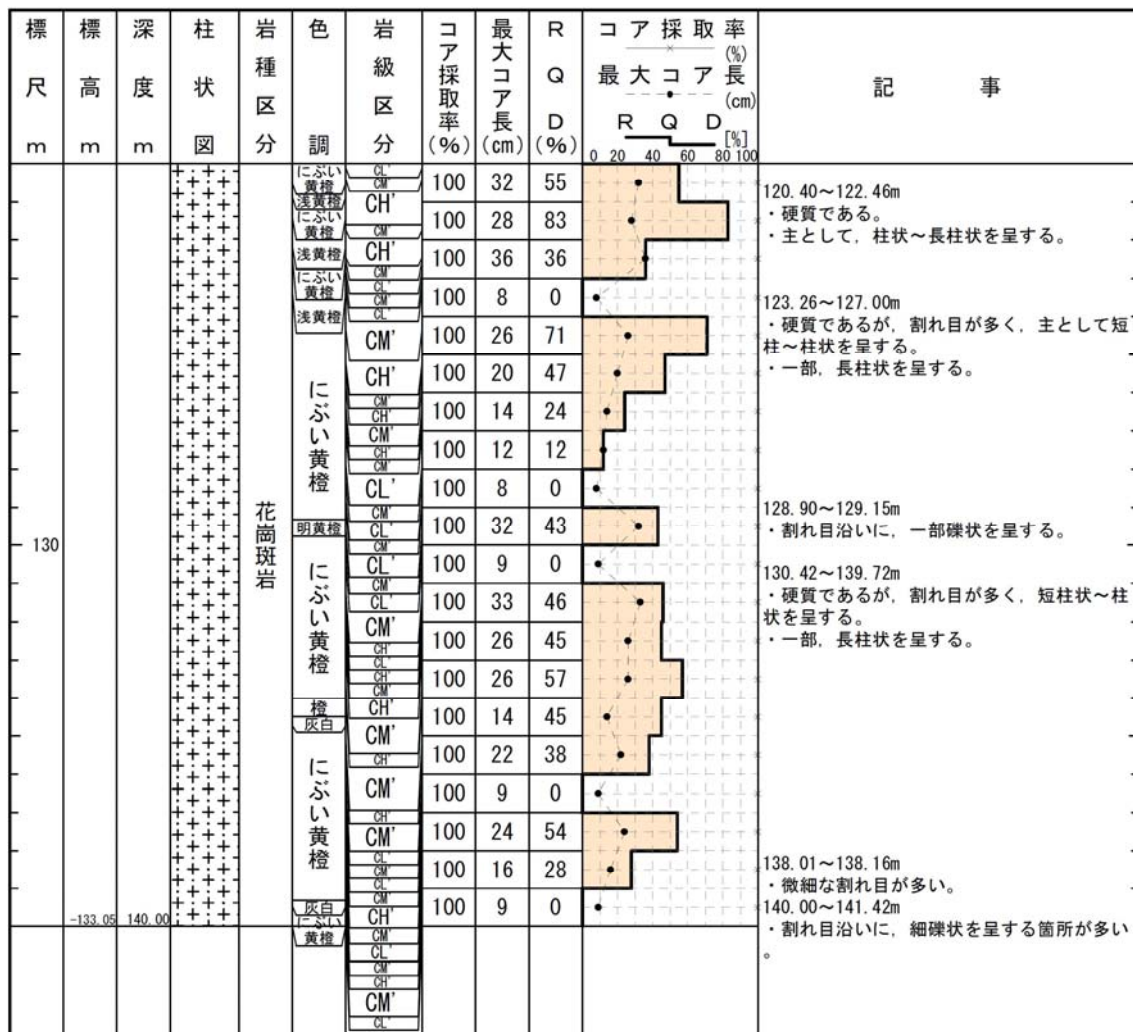
H27-B-4

柱状図(90.00m~120.00m)



H27-B-4

柱状図(120.00m~140.00m)

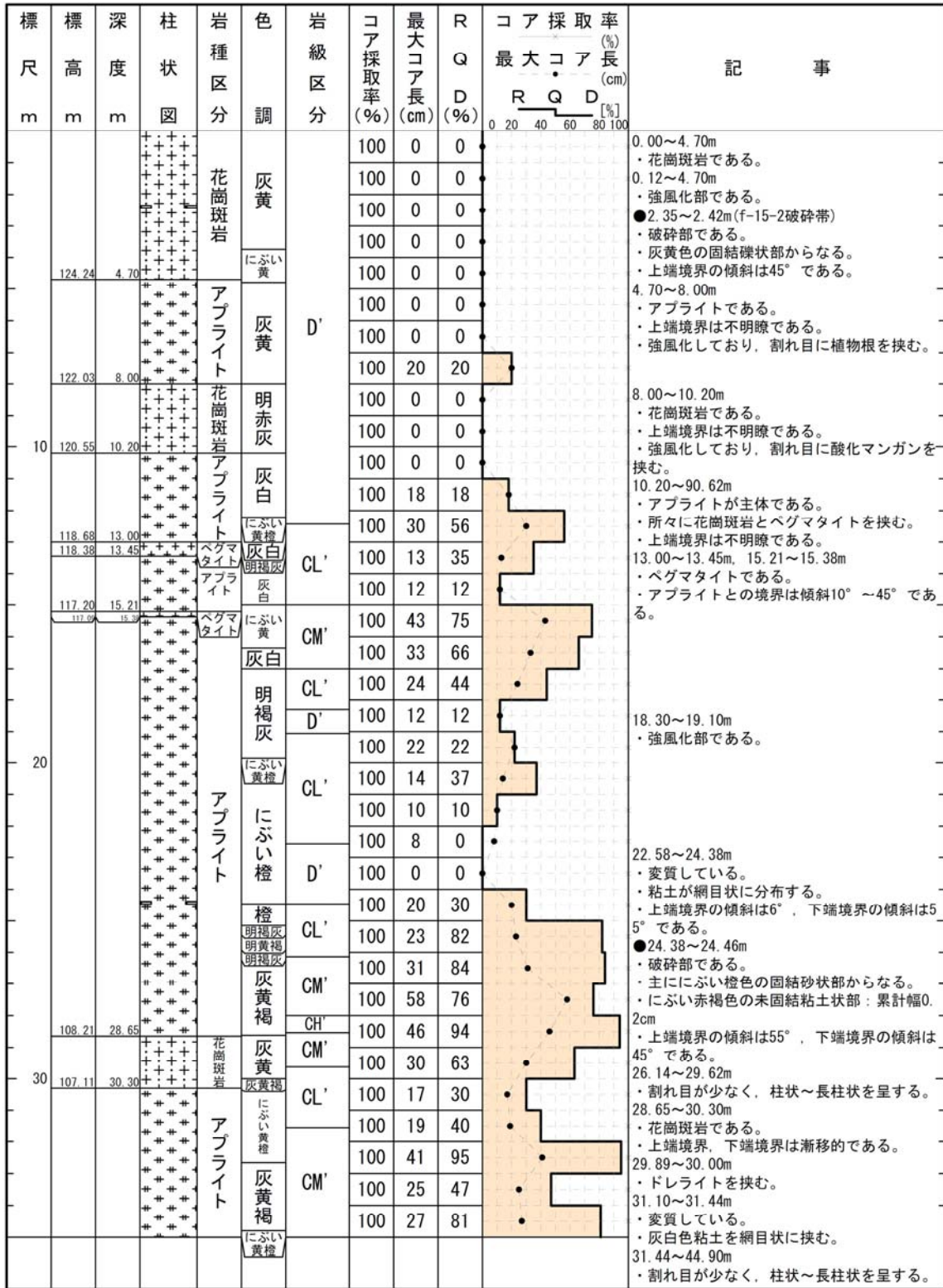


H19-No.2

柱状図(0.00m~35.00m)

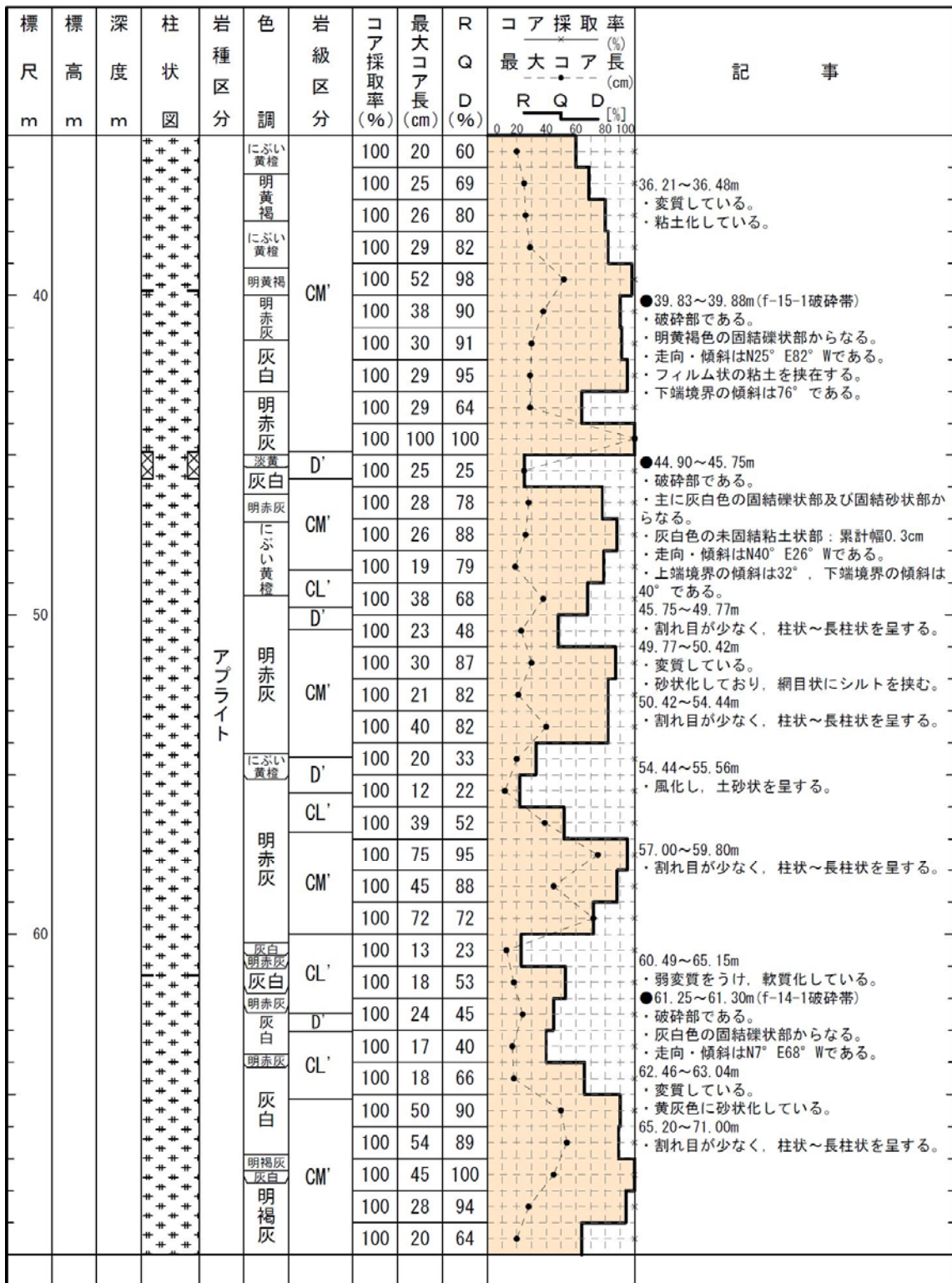
H19-No. 2

孔 口 標 高	T. P. 127.38m	掘 削 長	220.00m
---------	---------------	-------	---------



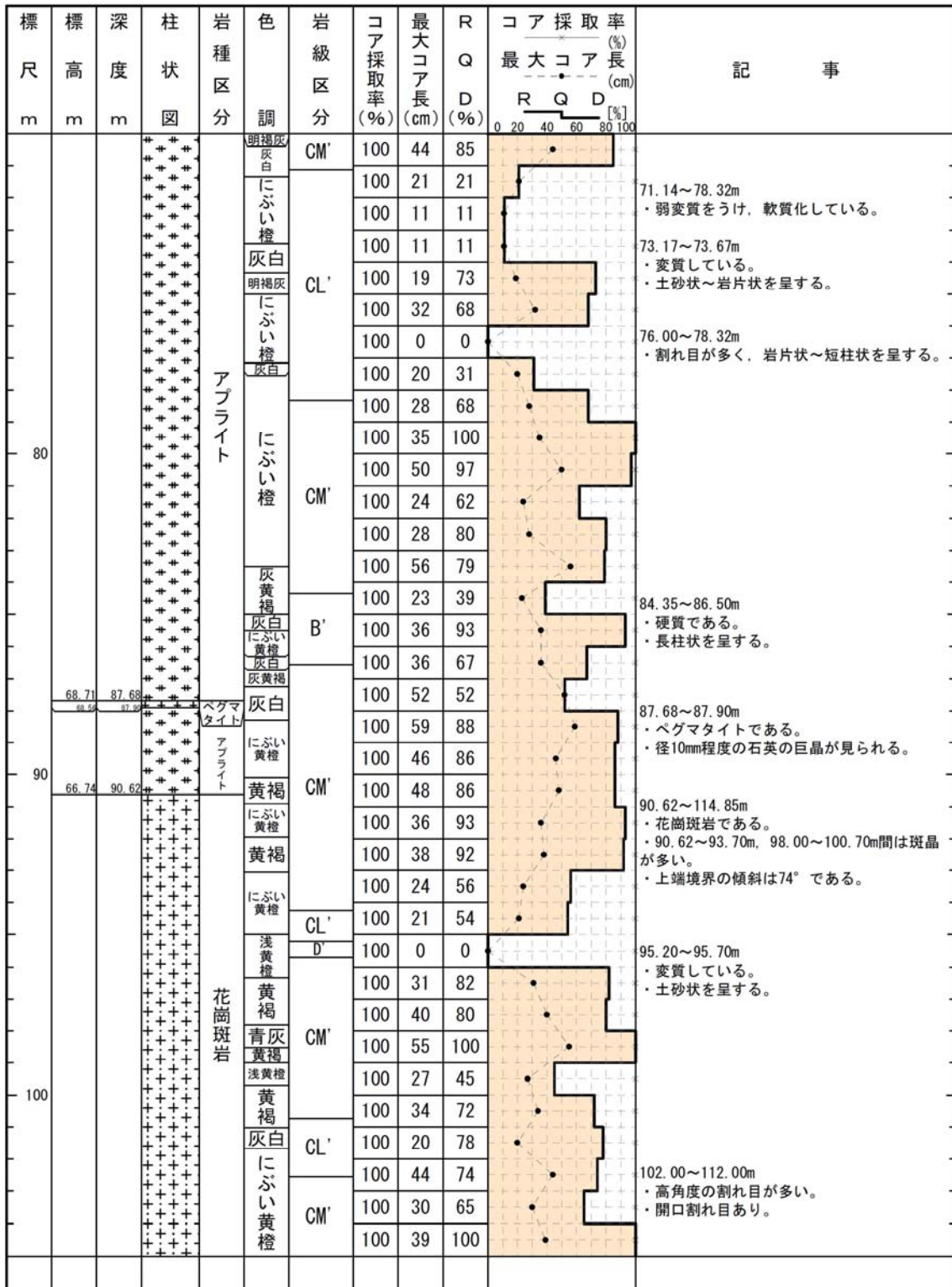
H19-No.2

柱状図(35.00m~70.00m)



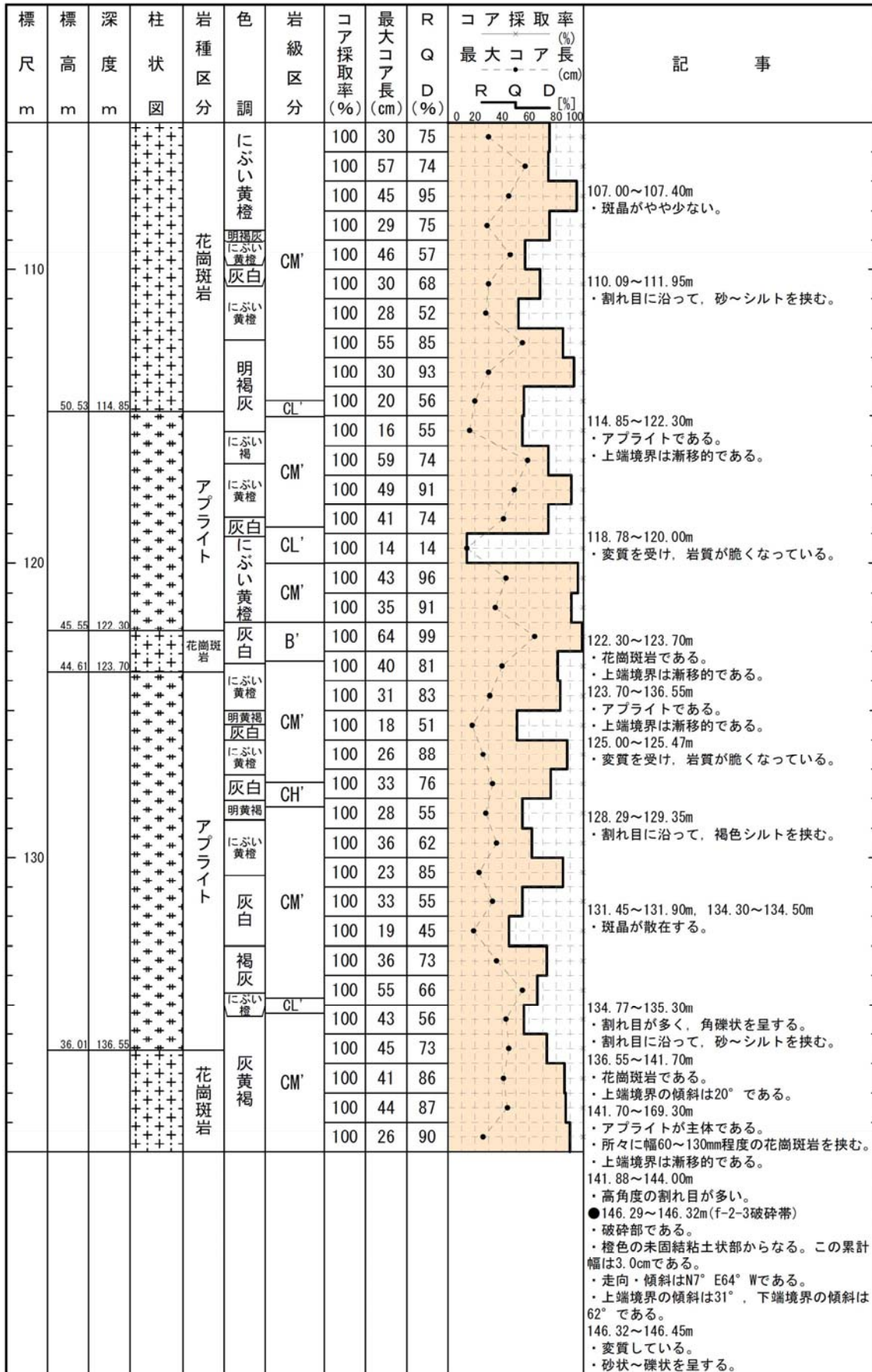
H19-No.2

柱状図(70.00m~105.00m)



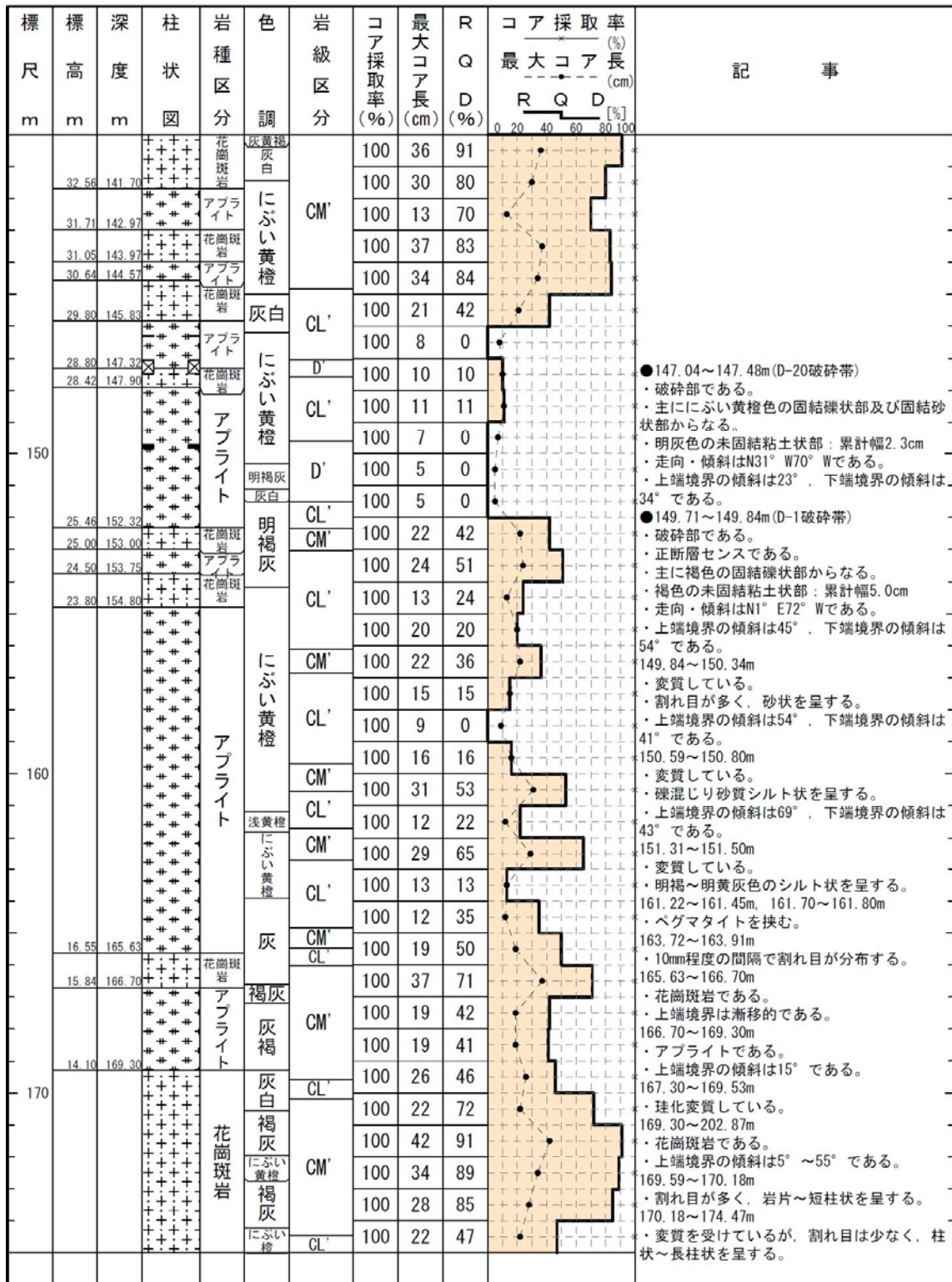
H19-No.2

柱状図(105.00m~140.00m)



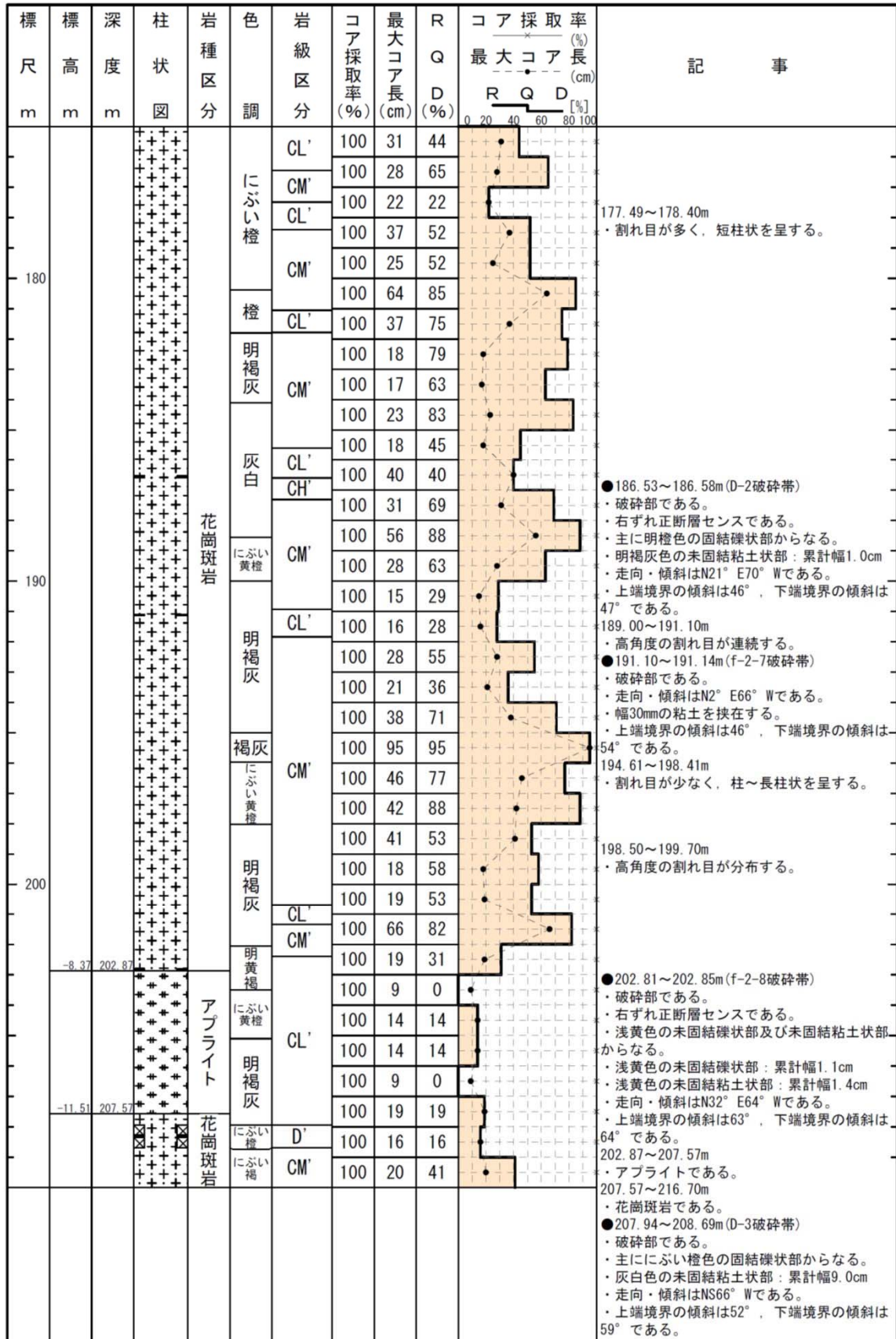
H19-No.2

柱状図(140.00m~175.00m)



H19-No.2

柱状図(175.00m~210.00m)



H19-No.2

柱状図(210.00m~220.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0 20 40 60 80 100
				花崗斑岩	にぶい褐	CM'	100	19	73		<ul style="list-style-type: none"> ●212.00~212.07m(f-2-10破碎帯) ・破碎部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。 ・黒色の未固結粘土状部：累計幅3.8cm ・走向・傾斜はN6° W63° Wである。 ・上端境界の傾斜は55°，下端境界の傾斜は41°である。 ●215.42~215.46m(f-2-11破碎帯) ・破碎部である。 ・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は3.0cmである。 ・走向・傾斜はN9° W64° Wである。 ・下端境界の傾斜は55°である。 ●216.15~216.24m(f-2-12破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN26° E61° Wである。 ・上端境界の傾斜は53°，下端境界の傾斜は63°である。 		
						CL'	100	18	18				
						CM'	100	24	68				
						明褐灰	CL'	100	6			0	
		-17.62 216.70				にぶい黄橙	CL'	100	17			27	
						アプライト	明褐灰	CM'	100			31	42
								CM'	100			21	67
								CL'	100			28	65
		-19.83 220.00						CL'	100			17	27

H19-No.14

柱状図(0.00m~35.00m)

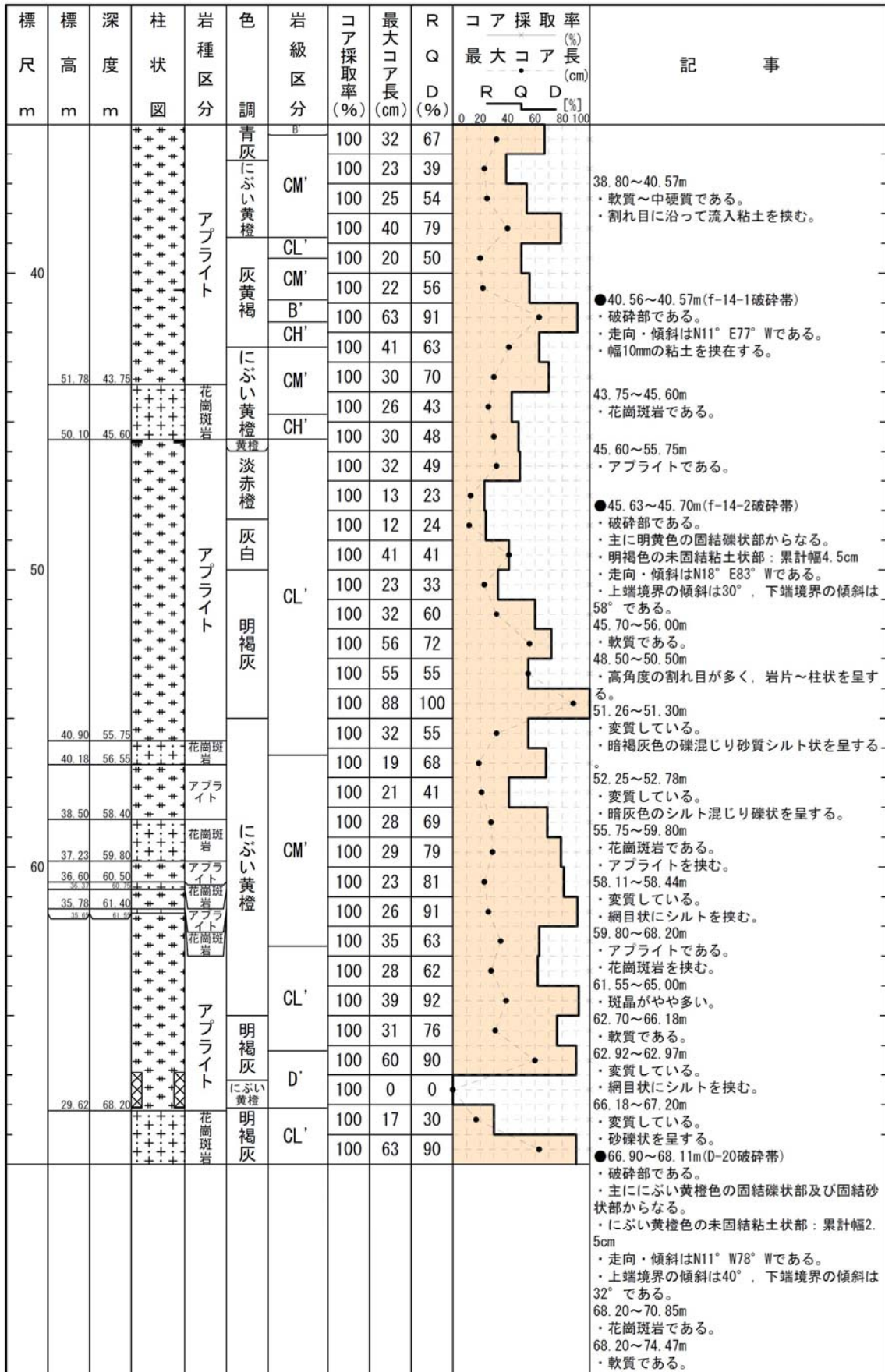
H19-No. 14

孔 口 標 高	T. P.	91.43m	掘 削 長	150.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事				
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D			
10	91.37	0.00	+	高有機質土 アプライト	灰白	D'	100						0.00~0.12m ・高有機質土である。 0.12~3.77m ・アプライトである。				
	88.01	3.77			にぶい黄橙 灰黄褐	CM'	100	28	46								
					にぶい黄橙	CL'	100	28	28								
	87.06	4.82			+	花崗斑岩 アプライト	灰白	CM'	100	18	64					3.77~4.82m ・花崗斑岩である。 4.82~22.15m ・アプライトである。	
							にぶい黄橙	CH'	100	59	94						
							褐灰	CM'	100	28	85						
							にぶい黄橙	CM'	100	24	62						
							褐灰	CM'	100	49	63						
							にぶい黄橙	CL'	100	47	77						
							灰白	CH'	100	15	29						
灰黄褐			CL'	100			19	19									
20	71.36	22.15	+	アプライト	オリーフ黄	CM'	100	42	90				8.00~8.08m ・明褐色流入粘土が見られる。 8.44~8.62m ・変質している。 ・シルト状~一部葉片状を呈する。 11.95~12.88m ・軟質~中硬質である。 14.35~16.90m ・高角度の割れ目が多く、流入粘土を挟む。 18.42~18.55m ・幅2~5mmの明褐色流入粘土が見られる。 19.23~19.37m ・変質している。 ・シルト混じり礫状を呈する。				
					CM'	100	36	94									
					CL'	100	32	57									
					CL'	100	13	34									
					CM'	100	13	37									
					CL'	100	34	47									
					CM'	100	37	68									
					CL'	100	44	78									
					CM'	100	36	88									
					30	68.63	25.16	+	花崗斑岩 アプライト	褐灰 灰白	CM'	100		25	82		
CM'	100	34	60														
CM'	100	45	88														
CM'	100	53	92														
CH'	100	39	82														
CH'	100	40	51														
CM'	100	28	56														
B'	100	54	100														
CM'	100	21	53														
CH'	100	95	95														
35	64.74	29.45	+	花崗斑岩 アプライト	CM'	100	60	100				29.45~34.50m ・花崗斑岩である。 30.80m ・幅5mmの流入粘土が見られる。 33.65~35.15m ・割れ目が少なく、長柱状を呈する。 34.50~43.75m ・アプライトである。					
					CM'	100	38	82									
					B'	100	47	95									
					CM'	100	60	100									

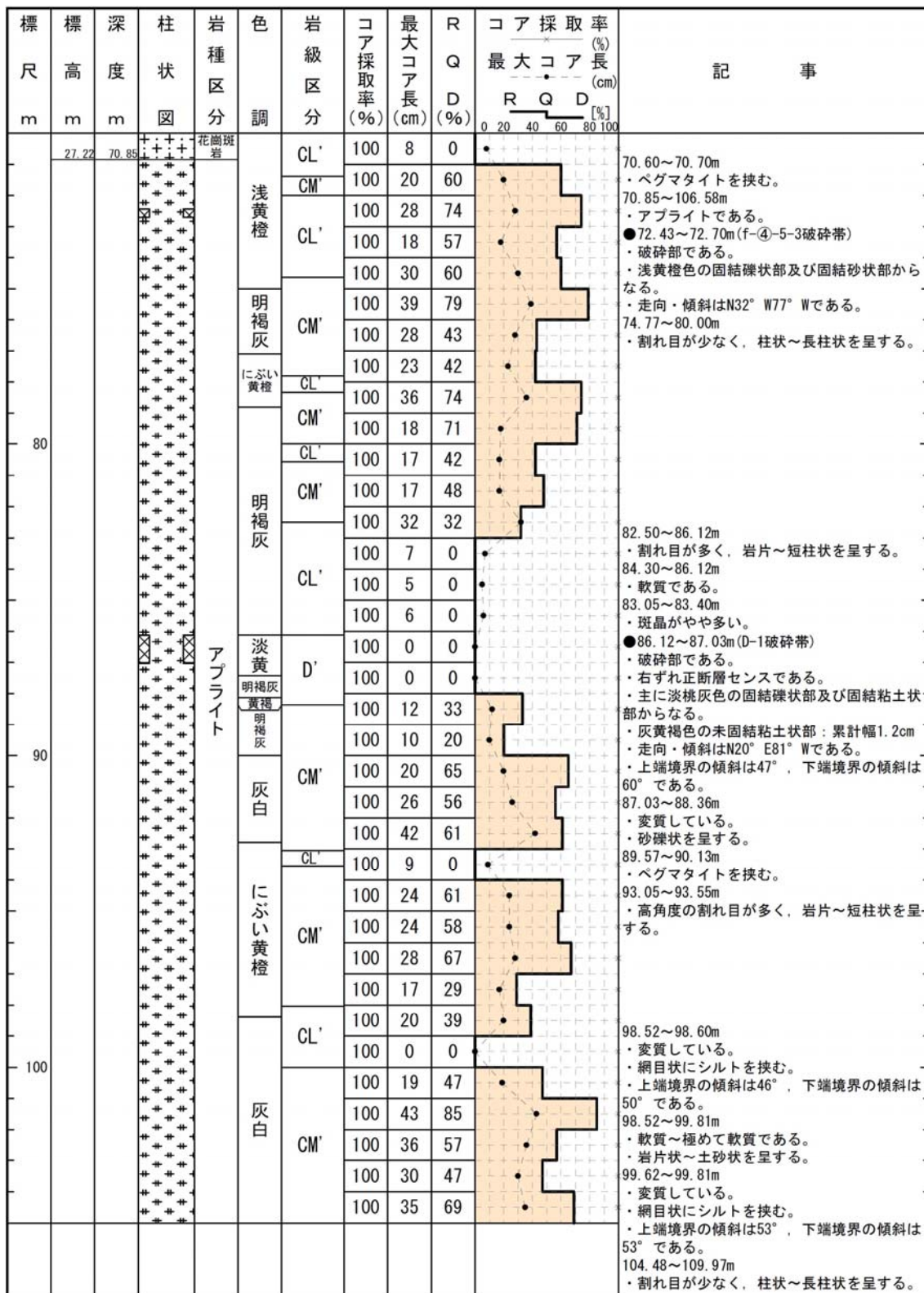
H19-No.14

柱状図(35.00m~70.00m)



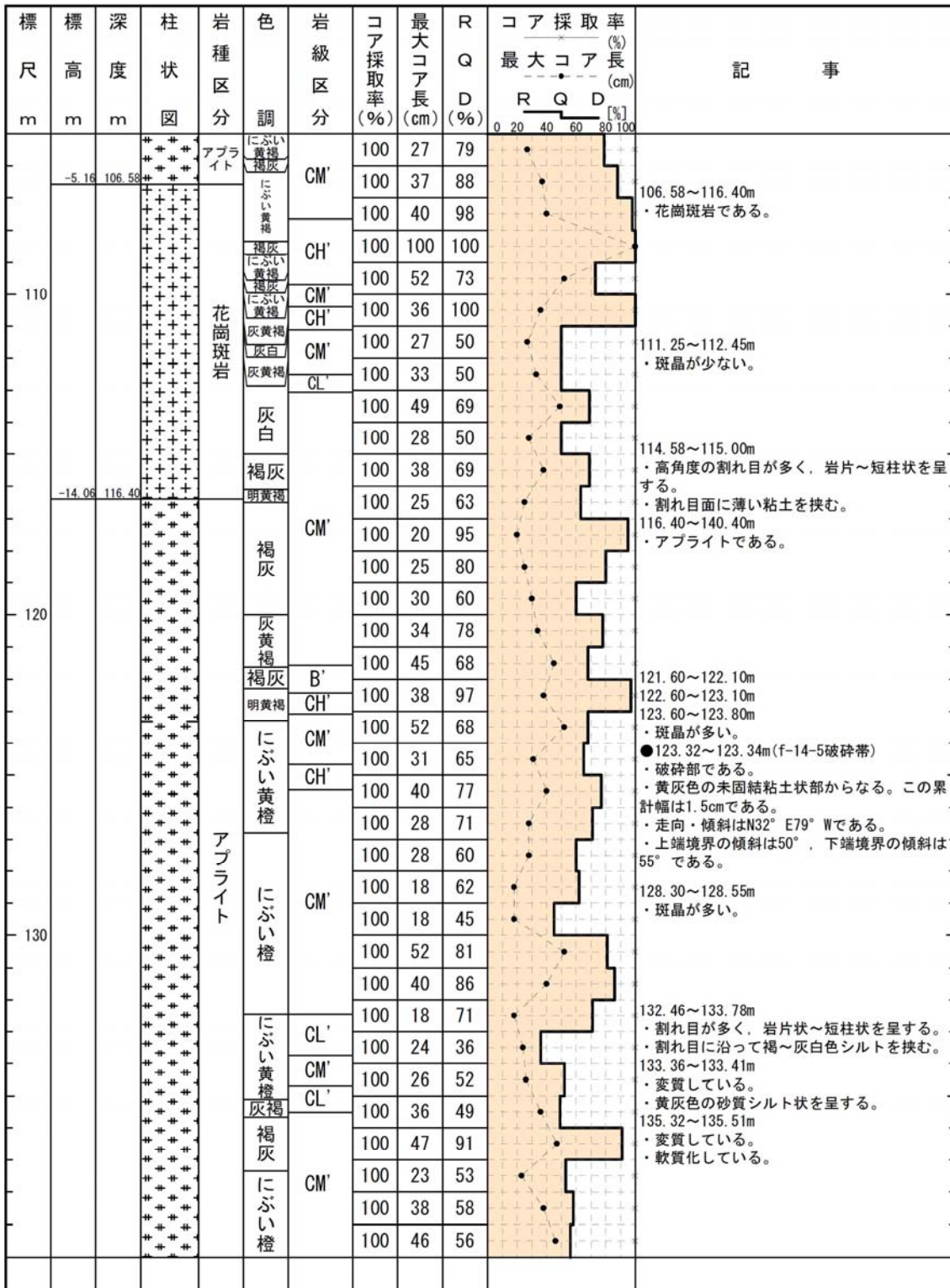
H19-No.14

柱状図(70.00m~105.00m)



H19-No.14

柱状図(105.00m~140.00m)



H19-No.14

柱状図(140.00m~150.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm) R Q D [%]	記 事
	-35.82	140.40	+	アフライト	にふい 橙	CM'	100	28	41		140.40~150.00m ・花崗斑岩である。
						CL'	100	14	36		
						CM'	100	17	49		
						CL'	100	39	55		
						CH'	100	46	80		
						CM'	100	20	37		
						CL'	100	29	74		
						CM'	100	18	18		
						CM'	100	70	82		
	-44.52	150.00									

H20-②-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-②-1

孔口標高	T.P.	69.01m	掘削長	65.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
	68.27	0.00		有機質土 アプライト	淡橙	D'	100	0	0				0.00~0.07m ・有機質土である。
	66.71	2.30		花崗斑岩 アプライト	浅黄橙	CL'	100	17	32				0.07~8.05m ・アプライトが主体である。
	66.36	2.65		花崗斑岩 アプライト	明褐灰	CM'	100	12	22				2.30~2.65m, 2.90~3.20m, 3.95~4.34m ・花崗斑岩である。
	65.81	3.20		花崗斑岩 アプライト	淡橙	D'	100	13	13				0.07~2.01m ・極めて軟質である。
	65.06	3.95		花崗斑岩 アプライト	淡橙	D'	100	17	49				0.07~14.79m ・傾斜25°及び60°程度の割れ目が見られる。
	64.67	4.34		花崗斑岩 アプライト	橙	CL'	100	22	22				・割れ目に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。
	61.84	7.17		ベグマタイト アプライト	浅黄橙	CL'	100	12	12				2.01~10.94m ・軟質である。
	61.32	7.69		花崗斑岩 アプライト	浅黄橙	CL'	100	12	22				7.17~7.65m ・変質している。
	60.96	8.05		花崗斑岩 アプライト	浅黄橙	CL'	100	22	36				・灰白色粘土が網目状に分布する。
10	59.34	9.67		黒雲母花崗斑岩 アプライト	灰白 橙	CM'	100	36	46				7.71~8.81m ・傾斜40°~75°程度、幅1mm以下の石英脈を多数挟む。
	58.93	10.06		花崗斑岩 アプライト	橙	CM'	100	11	22				8.05~10.94m ・花崗斑岩である。
	58.07	10.94		花崗斑岩 アプライト	明赤褐	CM'	100	32	61				9.67~10.06m ・黒雲母花崗岩を挟む。
	57.52	11.39		花崗斑岩 アプライト	明黄褐	CL'	100	14	40				10.94~11.21m ・ベグマタイトである。
	56.97	11.84		花崗斑岩 アプライト	浅黄橙	CL'	100	36	55				・径5~50mm程度の石英、長石からなる。
	56.42	12.29		花崗斑岩 アプライト	にふい 黄橙	CM'	100	39	60				10.94~14.79m ・中硬質である。
	55.87	12.74		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	42	53				11.21~32.25m ・花崗斑岩である。
	55.32	13.19		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	31	68				14.79~18.26m ・軟質である。
	54.77	13.64		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	48	77				14.79~18.69m ・傾斜70°程度の割れ目が見られる。
	54.22	14.09		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	36	73				・割れ目に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。
	53.67	14.54		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	27	47				18.26~29.70m ・硬質である。
	53.12	14.99		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	23	56				18.69~29.55m ・傾斜20°及び70°程度の割れ目が見られる。
	52.57	15.44		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	31	55				・割れ目に沿って褐色化し、一部灰白色粘土を伴う。
	52.02	15.89		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	38	95				24.61m ・傾斜80°程度、幅1~2mm程度の石英脈を挟む。
	51.47	16.34		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	38	71				26.62m ・傾斜76°程度、幅1~2mm程度の石英脈を挟む。
	50.92	16.79		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	36	77				29.55~39.55m ・傾斜45°及び75°程度の割れ目が見られる。
	50.37	17.24		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	27	70				・割れ目に沿って褐色化し、マンガンを伴うことが多い。
	49.82	17.69		花崗斑岩 アプライト	明褐	CH'	100	30	77				29.70~33.90m ・中硬質である。

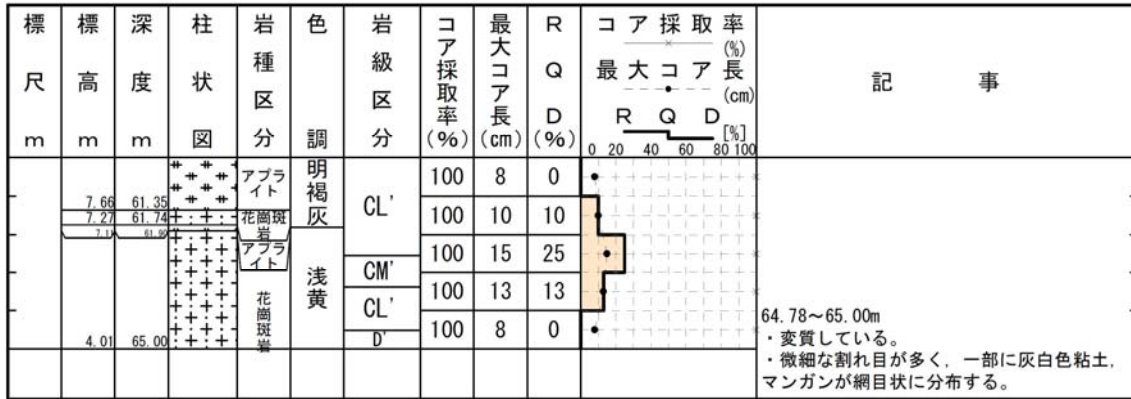
H20-②-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事												
													0	20	40	60	80	100						
40	36.76	32.25	+	花崗斑岩	にぶい橙	CM'	100	18	53	●	●	32.01m ・傾斜66°程度、幅5~10mm程度の石英脈を挟む。マンガンを伴う。												
	35.53	33.48					アブライト	橙	100				16	42										
									100				22	33										
	50	25.76					43.25	+	花崗斑岩				にぶい橙	CH'	100	23	82	●	●	32.22m ・傾斜67°程度、幅10mm程度のマンガン脈を挟む。 32.25~33.48m ・アブライトである。 33.48~65.00m ・花崗斑岩が主体である。 33.90~44.37m ・硬質である。				
															24.81	44.20	アブライト				明褐灰	100	37	80
																						100	46	69
															23.45	45.56	アブライト				明褐灰	100	25	78
																						100	17	71
															9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	27	40
	100	10					10																	
	50	24.81					44.20	+	花崗斑岩				にぶい橙	CM'	100	10	10	●	●	39.55~41.72m ・傾斜20°及び80°程度の割れ目が見られる。 41.72~65.00m ・傾斜60~70°程度の割れ目が見られる。 ・割れ目に沿って褐色化し、灰白色粘土を伴うことが多い。				
															23.45	45.56	アブライト				明褐灰	100	18	42
100			38	87																				
9.34			59.67	アブライト	明赤灰	100				15	25													
						100				8	0													
9.34			59.67	アブライト	明赤灰	100				3	0													
						100				2	0													
9.34			59.67	アブライト	明赤灰	100				7	0													
						100				8	0													
9.34			59.67	アブライト	明赤灰	100				2	0													
						100				0	0													
9.34			59.67	アブライト	明赤灰	100				3	0													
	100	4				0																		
9.34	59.67	アブライト	明赤灰	100	14	14																		
				100	10	10																		
9.34	59.67	アブライト	明赤灰	100	6	0																		
				100	8	0																		
9.34	59.67	アブライト	明赤灰	100	7	0																		
				100	12	54																		
9.34	59.67	アブライト	明赤灰	100	7	0																		
				100	7	0																		
50	9.34	59.67	+	花崗斑岩	にぶい橙	CL'	100	3	0	●	●	43.16m ・傾斜45°程度、幅5~8mm程度の石英脈を挟む。 43.25~43.50m 44.20~45.56m ・アブライトを挟む。 44.55~44.80m ・変質している。 ・微細な割れ目に灰白色粘土を挟む。 ●45.13~46.34m(f-②-1-1破碎帯) ・破碎部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部、灰白色の固結砂状部及び固結粘土状部からなる。 ・黄褐色の未固結粘土状部：累計幅3.0cm ・走向・傾斜はN3°W60°Wである。 ・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は68°である。 ●46.85~46.97m(f-②-1-2破碎帯) ・破碎部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.6cm ・走向・傾斜はN63°E71°Sである。 ・上端境界の傾斜は72°、下端境界の傾斜は67°である。 47.13~47.25m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 ●48.26~48.95m(f-②-1-3破碎帯) ・破碎部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN52°W71°SWである。 ・上端境界の傾斜は69°、下端境界の傾斜は45°である。 ●49.21~51.10m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に淡桃灰~褐色の固結礫状部、灰白色の固結砂状部及び固結粘土状部からなる。 ・橙色の未固結粘土状部：累計幅0.8cm ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は36°、主せん断面の傾斜は65°である。 51.10~57.42m ・軟質である。 51.73~52.12m、52.53~52.67m、 53.67~53.72m、54.55~54.64m、 55.85~55.90m、56.57~56.67m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 57.42~65.00m ・中硬質である。 59.67~61.35m 61.74~61.60m ・アブライトである。												
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	8	0								
														100	7	0								
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	12	54								
														100	7	0								
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	7	0								
														100	7	0								
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	7	0								
														100	7	0								
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	7	0								
														100	7	0								
							9.34	59.67	アブライト				明赤灰	100	7	0								
100	7	0																						

H20-②-1

柱状図(60.00m~65.00m)



H24-B14-2

柱状図(0.00m~30.00m)

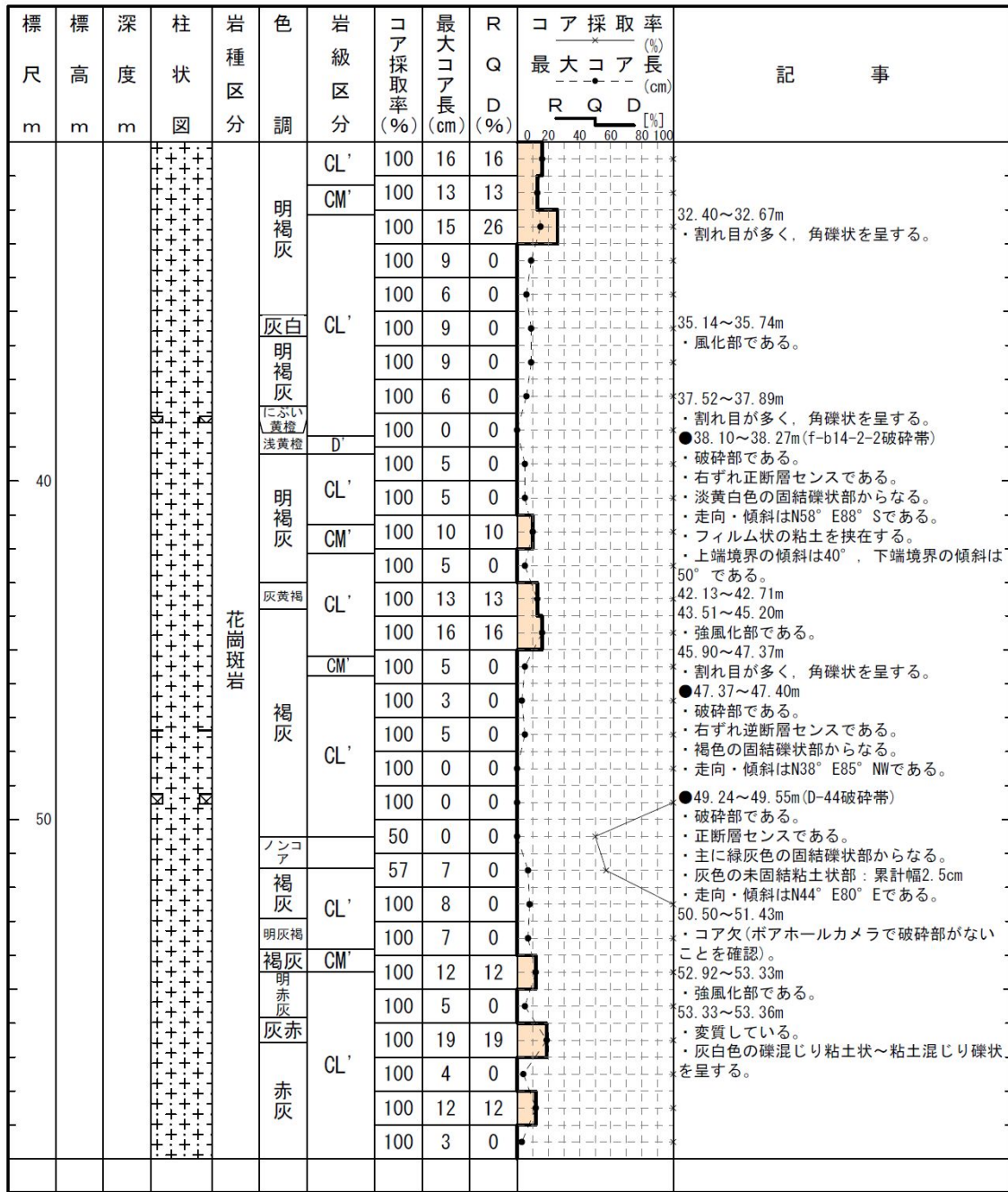
H24-B14-2

孔口標高	T.P.	7.06m	掘削長	150.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	D (%)	
		0.00		埋土	明褐		100						0.00~6.66m ・埋土である。
		2.35			灰		100						
		6.66			明褐		100						
		8.39		礫質砂	褐灰		100						6.66~8.39m ・礫質砂である。 ・径2~5mmの細礫を含む。
		8.83		灰混じりシルト	黒褐		100						8.39~8.83m ・砂混じり有機質シルトである。 ・未炭化木片を含む。
		9.54		有機物混じり砂	黒褐		100						8.83~9.54m ・有機物混じり砂である。
		11.12		砂礫	赤褐		87						9.54~11.12m ・砂礫である。 ・径2~50mmの花崗斑岩礫を含む。
		12.04		灰混じり砂	灰白		100						11.12~12.04m ・礫混じり砂である。
		12.69		有機物混じり砂	灰		100						12.04~12.69m ・有機物混じり砂である。 ・細粒~中粒砂が主体である。
		13.09		有機物混じりシルト	灰白		100						12.69~13.09m ・有機物混じり砂質シルトである。
		13.86		シルト混じり砂	灰白		100	0	0				13.09~13.86m ・シルト混じり砂である。
		16.24		砂礫	明褐	D'	100	0	0				13.86~16.24m ・砂礫である。
					灰白		100	2	0				16.24~60.65m ・花崗斑岩である。 ・強風化し、変質している。
					明褐	CL'	100	4	0				
					明褐		100	10	10				
					明褐		100	4	0				
				花崗斑岩	褐灰	D'	100	0	0				24.48~26.62m ・割れ目が多く、砂状~角礫状を呈する。
					にぶい黄褐		100	7	0				●28.50~28.66m(f-b14-2-1破碎帯) ・破碎部である。
					灰褐	CL'	100	4	0				・左ずれ正断層センスである。
					明褐		100	9	0				・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN35° E77° NWである。

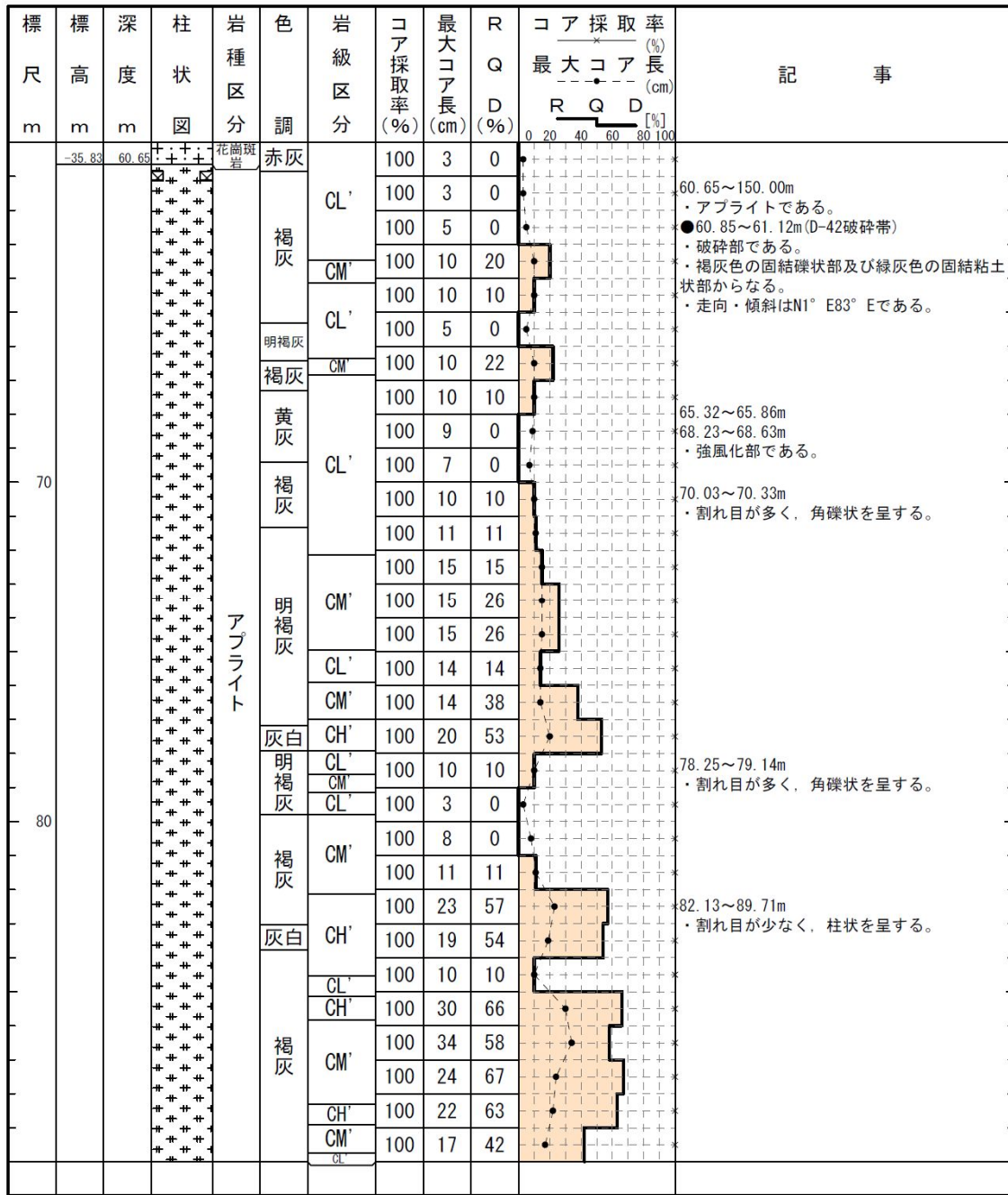
H24-B14-2

柱状図(30.00m~60.00m)



H24-B14-2

柱状図(60.00m~90.00m)



H24-B14-2

柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事				
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	最大 コア 長 (cm)					
100			+	ア プ ラ イ ト		褐 灰	CL'	100	11	11	0	20	40	60	80	100	90.08~90.56m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
								100	9	0							
							CM'	100	16	47							
								100	6	0							
							CL'	100	7	0						94.00~94.63m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
								100	5	0							
							明褐灰	CM'	100	5	0					96.38~96.97m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
									100	13	23						
							明褐灰	CL'	100	9	0					●101.47~101.52m (f-b14-2-6破碎帯) ・破碎部である。 ・灰白色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN3° E65° Eである。	
									100	9	0						
									100	7	0						
									100	8	0						
褐灰	CM'	100	8	0					●105.54~105.61m (D-41破碎帯) ・破碎部である。 ・緑灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN16° E84° Eである。								
		100	8	0													
明褐灰	CL'	100	11	11					107.29~107.45m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ●109.16~109.46m (D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・明緑灰色の未固結粘土状部：累計幅2.2cm ・走向・傾斜はN1° W76° Wである。								
		100	7	0													
		100	8	0													
		100	15	26													
明褐灰	CM'	100	11	21					109.46~112.49m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。								
		100	12	23													
明褐灰	CL'	100	11	11					110.95~111.16m ・変質が著しく、暗緑灰色に変色する。								
		100	7	0													
明褐灰	CM'	100	9	0					114.66~116.33m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。								
		100	10	10													
明褐灰	CL'	100	7	0													
		100	7	0													

H24-B14-2

柱状図(120.00m~150.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事					
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	最大 コア 長 (cm)						
130			+	ア プ ラ イ ト		褐 灰	100	4	0	●	0	20	40	60	80	100		
								5	0									
								4	0									
								4	0									
								5	0									
								9	0									
								5	0									
								9	0									
								7	0									
								5	0									
								0										
								100	3									0
								100	5									0
								0										
140			+	ア プ ラ イ ト		灰 褐	50	2	0	●	0	20	40	60	80	100		
								75	3									0
								100	4									0
								100	5									0
								100	4									0
								100	5									0
								100	3									0
								100	6									0
								100	8									0
								100	11									11
								100	10									10
								100	9									0
								100	3									0
								100	3									0
100	9	0																

131.00~132.00m
・コア欠(ポアホールカメラで破砕部がないことを確認)。
132.00~133.00m
・割れ目が多く、角礫状を呈する。
134.00~135.00m
・コア欠(ポアホールカメラで破砕部がないことを確認)。
135.00~135.50m
・割れ目が多く、角礫状を呈する。
135.50~136.00m
136.50~136.75m
・コア欠(ポアホールカメラで破砕部がないことを確認)。
140.04~140.33m
・割れ目が多く、角礫状を呈する。

H24-D1-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-D1-1

孔口標高	T.P.	20.25m	掘削長	100.00m
------	------	--------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)	
				埋土	にぶい黄橙		100					0.00~4.33m ・埋土である。
		17.19					100					4.33~5.05m ・砂礫である。
		16.68		砂礫			100					・径5~30mmの花崗斑岩の硬質礫を含む。
		16.40		砂礫			100					5.05~5.45m ・砂である。
		15.77		砂礫	にぶい黄橙		100					・径1~3mmの石英を多く含む。
		15.59		砂礫	にぶい黄橙		100					5.45~6.33m ・礫である。
		15.59		砂礫	明褐灰		100					・径30~280mmの垂角礫からなる。
		15.59		シルト混じり砂礫	にぶい黄橙		100					6.33~6.59m ・砂礫である。
		13.55		砂礫	にぶい黄橙		100					・礫は径2~80mmの垂円~垂角礫を含み基質は中粒~粗粒砂からなる。
10		13.00		砂礫	にぶい黄橙		100					6.59~6.72m ・シルト混じり砂である。
		12.47		砂礫	にぶい黄橙		100					6.72~9.48m ・砂である。
		11.62		砂礫	にぶい黄橙		100					・石英や花崗斑岩礫が点在する。
						D'	100	7	0			9.48~10.25m ・砂礫である。
						D'	100	4	0			・礫は径2~70mmの石英、垂円~垂角礫からなる。
						D'	100	8	0			10.25~11.00m ・砂である。
						D'	100	6	0			・不均質に粘土分や有機物を含む。
						CL'	100	9	0			11.00~12.20m ・砂礫である。
						D'	100	5	0			・礫は径2~160mmの垂円~垂角礫を含む。
						D'	100	4	0			・礫率は40~50%程度である。
						D'	100	3	0			12.20~100.00m ・花崗斑岩である。
						D'	100	6	0			12.20~21.04m ・風化部である。
						CL'	100	7	0			21.04~30.53m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。
						CL'	100	12	12			
						CL'	100	11	11			
						D'	100	6	0			
						D'	100	5	0			
						D'	100	7	0			
					にぶい褐	CL'	100	2	0			
					明褐灰	D'	100	16	16			
					にぶい褐	D'	100	4	0			
					明褐灰	CL'						

H24-D1-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
		40		花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	17	17	0	0	<p>32.38~42.23m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目が多く、砂~短柱状を呈する。 <p>●45.91~48.28m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・明褐灰色の固結礫状部及び明赤灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN1° E58° Wである。 <p>●49.20~49.91m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN9° W74° Eである。 <p>●53.77~54.54m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・浅黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN20° E77° Eである。 <p>●58.96~59.30m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・にぶい橙色の未固結粘土状部：累計幅1.4cm ・走向・傾斜はN8° E78° Wである。
					にぶい 褐 灰白		100	6	0	0	0	
					明褐灰	100	22	22	0	0	0	
					明黄褐	100	9	0	0	0	0	
					明褐灰	100	9	0	0	0	0	
					明黄褐	100	5	0	0	0	0	
					明黄褐	100	4	0	0	0	0	
					明黄褐	100	10	10	0	0	0	
					明黄褐	100	4	0	0	0	0	
					明褐灰	100	4	0	0	0	0	
					明褐灰	100	5	0	0	0	0	
					明褐灰	100	15	27	0	0	0	
					明褐灰	100	8	0	0	0	0	
					明褐灰	100	8	0	0	0	0	
					明褐灰	100	3	0	0	0	0	
					にぶい 橙	100	2	0	0	0	0	
					明黄褐	100	1	0	0	0	0	
					明黄褐	100	1	0	0	0	0	
					明黄褐	100	1	0	0	0	0	
					明褐灰	100	2	0	0	0	0	
			明褐灰	100	2	0	0	0	0			
			明褐灰	100	5	0	0	0	0			
			にぶい 橙	100	4	0	0	0	0			
			灰褐	100	2	0	0	0	0			
			灰褐	100	2	0	0	0	0			
			にぶい 黄橙	100	4	0	0	0	0			
			灰褐	100	4	0	0	0	0			
			灰褐	100	4	0	0	0	0			
			明褐灰	100	2	0	0	0	0			
			明褐灰	100	1	0	0	0	0			
			橙	100	4	0	0	0	0			
			明褐灰	100	1	0	0	0	0			
			明褐灰	100	4	0	0	0	0			

H24-D1-1

柱状図(60.00m~90.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事			
													0	20	40
70			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	1	0				<ul style="list-style-type: none"> ●60.12~60.15m(D-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN9° E88° Wである。 		
						灰褐	CL'	100	2	0					
								100	5	0					
								100	6	0					
						にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	10	10				
									100	10	10				
									100	11	21				
						にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	6	0				
									100	4	0				
									100	3	0				
								CL'		100	3	0			
										100	3	0			
	100	2	0												
にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	3	0										
			100	4	0										
			100	2	0										
にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	4	0										
			100	2	0										
		CL'		100	4	0									
				100	4	0									
				100	1	0									
		にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	3	0								
	100			3	0										
	100			3	0										
にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	5	0										
			100	5	0										
		CL'		100	5	0									
				100	6	0									
				100	6	0									
		にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	8	0								
	100			9	0										
	100			9	0										
にぶい 黄橙	灰褐	D'	100	11	11										
			100	6	0										
にぶい 黄橙	灰褐	CL'	100	4	0										
			100	4	0										
80			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	11	11			<ul style="list-style-type: none"> ●78.77~79.19m ・破碎部である。 ・右ずれ逆断層センスである。 ・明オリーフ灰~褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E78° Eである。 			
							100	3	0						
			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	3	0			<ul style="list-style-type: none"> ●80.08~81.00m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 			
							100	5	0						
			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	5	0			<ul style="list-style-type: none"> ●81.20~81.42m ・破碎部である。 ・左ずれセンスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.4cm ・走向・傾斜はN29° W79° Wである。 			
							100	6	0						
			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	8	0			<ul style="list-style-type: none"> ●87.14~88.35m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 			
							100	9	0						
			+	花崗斑岩	明褐灰	D'	100	11	11			<ul style="list-style-type: none"> ●89.91~89.95m(D-33破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・明赤灰色の未固結礫状部及び明赤灰色の未固結粘土状部からなる。 ・明赤灰色の未固結礫状部：累計幅0.2cm ・明赤灰色の未固結粘土状部：累計幅1.8cm ・走向・傾斜はN22° W80° Eである。 			
							100	6	0						

H24-D1-1

柱状図(90.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア 長 (cm)	記 事
		90.00		花崗斑岩	灰褐色	CL	100	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●90.26~90.84m (f-d1-1-10 破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・赤灰色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN53° W80° NEである。 ●91.26~91.52m (f-d1-1-11 破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び赤灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN31° E83° SEである。 ●93.12~93.24m ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び赤灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN11° E83° Eである。
		90.46			灰褐色	D'	100	3	0	0	
		90.84			褐灰	D'	100	1	0	0	
		91.26			灰褐色	CL'	100	4	0	0	
		91.52			灰褐色	D'	100	3	0	0	
		91.88			灰褐色	CL'	100	5	0	0	
		92.24			灰褐色		100	5	0	0	
		92.60			灰褐色		100	3	0	0	
		92.96			灰黄褐色	CL'	100	4	0	0	
		93.32			灰褐色		100	5	0	0	
		93.68									
		94.04									
		94.40									
		94.76									
		95.12									
		95.48									
		95.84									
		96.20									
		96.56									
		96.92									
		97.28									
		97.64									
		98.00									
		98.36									
		98.72									
		99.08									
		99.44									
		99.80									

H27-B-1

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-B-1

孔 口 標 高	T. P.	20.22m	掘 削 長	140.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事				
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)					
10				盛土	に ぶ い 黄 褐		100					0.00~4.10m ・盛土である。				
							100									
		17.32					4.10	100								
		17.18					4.34	100	砂礫	黄褐						4.10~4.30m ・砂礫である。
		16.98					4.54	100	砂礫 混じり砂	に ぶ い 黄 褐						4.30~4.65m ・砂礫混じり砂である。
		15.41					6.80	100	砂礫	灰 褐						4.65~6.80m ・砂礫である。
		15.16					7.15	100	砂礫 混じり砂	明 褐 灰						6.80~7.15m ・砂礫混じり砂である。
		15.09					7.39	100	砂礫 混じり砂	に ぶ い 黄 褐						7.15~7.30m ・砂礫である。
		14.14					8.60	100	砂礫 混じり砂	有 機 質 土						7.30~8.60m ・最大径200mmの礫を含む。
								100	砂礫 混じり砂	灰 黄 褐						8.60~12.10m ・砂礫混じり砂である。
20				花崗斑岩	に ぶ い 黄 橙	D'	100	1	0			12.10~12.49m ・砂礫である。				
							100	1	0					12.49~94.07m ・少量のくさり礫を含む。		
							100	11	11						12.49~14.84m ・花崗斑岩である。	
							100	2	0						14.84~21.16m ・強風化部である。	
							100	8	0						21.16~22.01m ・土砂状を呈するが、原岩組織は残っている。	
							100	10	10						22.01~23.05m ・灰白色の粘土脈を挟み、脆弱である。	
							100	4	0						23.05~23.80m ・割れ目治いに、砂状を呈する。	
							100	14	14						23.80~24.44m ・割れ目治いに、砂状を呈する。	
							100	7	0						24.44~24.71m ・割れ目の交差部で、一部細片状を呈する。	
							100	14	14						24.71~27.10m ・土砂状を呈する。	
											27.10~27.60m ・砂礫状を呈する。					
											27.60~28.84m ・砂礫状を呈する。					
											28.84~30.74m ・締まった砂礫状を呈する。					

H27-B-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)	
				花崗斑岩	明褐色	D'	100	4	0			31.05~31.23m ・変質している。 ・白色粘土状を呈する。 31.70~32.20m ・割れ目沿いに砂状を呈し、砂混じり岩片状を呈する。 33.40m ・割れ目沿いに幅20mm砂状を呈する。 ●34.54~34.59m ・破砕部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び灰黄褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN25° E46° Wである。 ・上端境界の傾斜は10°~40°、下端境界の傾斜は11°である。 35.37~37.15m ・著しく軟質化している。 37.80m ・割れ目沿いに、砂状を呈する。 40.32~40.77m ・砂礫状を呈する。 42.24~42.28m ・変質している。 ・淡黄色粘土状を呈する。 ●42.41~42.49m ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN65° W36° NEである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は18°である。 ●44.24~44.53m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN1° E89° Wである。 ・上端境界の傾斜は5°~13°、下端境界の傾斜は70°である。 ●44.53~44.83m ・破砕部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・にぶい橙~灰白色の固結礫状部及び灰黄褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はNS66° Eである。 ・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は75°~85°である。 ●45.36~45.39m ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・にぶい橙色の固結礫状部及び灰褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN43° E70° SEである。 ・上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は65°である。 ●46.12~46.17m ・破砕部である。 ・主に淡黄色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm ・走向・傾斜はN14° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は35°~70°である。
					にぶい黄橙	CL'	100	3	0			
					明褐色	D'	100	6	0			
					明褐色	CL'	100	14	14			
					にぶい黄橙	D'	100	4	0			
					明褐色	CL'	100	4	0			
					明褐色	D'	100	9	0			
					明褐色	CL'	100	7	0			
					明褐色	CL'	100	5	0			
					明褐色	CL'	100	4	0			
					明褐色	CL'	100	8	0			
					にぶい橙	D'	100	4	0			
					にぶい黄橙	D'	100	2	0			
					にぶい黄橙	D'	100	2	0			
					にぶい黄橙	D'	100	1	0			
					灰褐色	D'	100	1	0			
					にぶい橙	D'	100	1	0			
					淡黄	D'	100	1	0			
					にぶい褐	D'	100	2	0			
					黄褐色	CL'	100	1	0			
				にぶい黄橙	D'	100	4	0				
				にぶい橙	CL'	100	6	0				
				にぶい橙	D'	100	5	0				
				灰褐色	D'	100	2	0				
				にぶい橙	CL'	100	4	0				
				にぶい橙	CL'	100	3	0				
				にぶい橙	CL'	100	7	0				
				にぶい橙	D'	100	5	0				
				にぶい橙	CL'	100	6	0				
				にぶい褐	D'	100	5	0				
				にぶい橙	CL'	100	2	0				

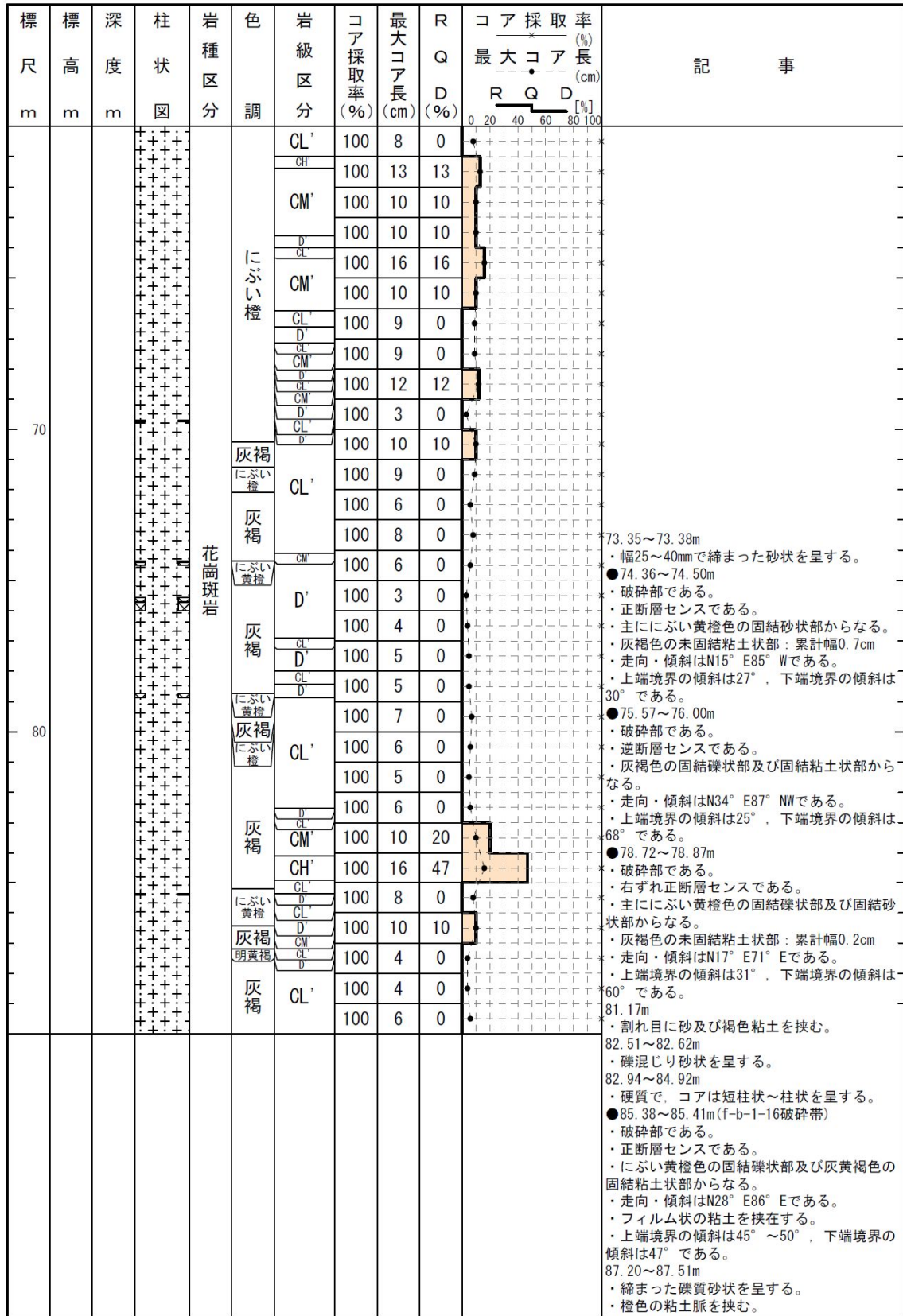
H27-B-1

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	
		40		花崗斑岩	明褐灰	D'	100	4	0	●	<ul style="list-style-type: none"> ●47.40~47.51m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に黄褐色の固結砂状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN21° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は58°，下端境界の傾斜は55°である。 ●49.17~49.22m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明黄褐色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN47° E45° Wである。 ・上端境界の傾斜は25°，下端境界の傾斜は23°である。 ●52.72~52.81m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・明褐灰色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は56°，下端境界の傾斜は14°である。 ●53.17~53.22m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN27° E64° Wである。 ・上端境界の傾斜は29°，下端境界の傾斜は27°である。 ●59.82~59.85m(D-1破砕帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主ににぶい褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN26° E80° Wである。 ・上端境界の傾斜は22°，下端境界の傾斜は28°である。 60.99~63.61m <ul style="list-style-type: none"> ・硬質であるが、割れ目が多い。 63.61~64.00m <ul style="list-style-type: none"> ・砂礫状を呈する。 64.33~66.07m <ul style="list-style-type: none"> ・硬質であるが、割れ目が多い。 67.80~67.93m <ul style="list-style-type: none"> ・砂礫状を呈する。 ●69.70~69.73m <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・にぶい黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN25° E82° Eである。 ・上端境界の傾斜は55°，下端境界の傾斜は57°である。 	
		50			黄褐 にぶい 黄橙	CL'	100	3	0	●		
					明褐灰	D'	100	6	0	●		
					明褐灰	CL'	100	14	14	●		
					にぶい 黄橙	D'	100	4	0	●		
					にぶい 黄橙	CL'	100	4	0	●		
					明褐灰	D'	100	9	0	●		
					明褐灰	CL'	100	7	0	●		
			100				5	0	●			
			100				4	0	●			
					にぶい 黄橙	D'	100	8	0	●		
			100				4	0	●			
			100				4	0	●			
					にぶい 黄橙	D'	100	2	0	●		
			100				2	0	●			
					灰褐 灰白 灰褐	D'	100	1	0	●		
			100				1	0	●			
					にぶい 黄橙	D'	100	1	0	●		
			100				1	0	●			
					淡黄 にぶい 褐 黄橙	CL'	100	2	0	●		
			100	1			0	●				
				にぶい 黄橙	D'	100	4	0	●			
			100			6	0	●				
				にぶい 黄橙	CL'	100	5	0	●			
			100			5	0	●				
				灰褐 D'	CL'	100	2	0	●			
			100			4	0	●				
				にぶい 橙	CL'	100	3	0	●			
			100			7	0	●				
			100			5	0	●				
				にぶい 橙	D'	100	6	0	●			
			100			6	0	●				
				にぶい 褐 にぶい 橙	D'	100	5	0	●			
			100			5	0	●				
				にぶい 橙	CL'	100	2	0	●			
			100			2	0	●				

H27-B-1

柱状図(60.00m~90.00m)



H27-B-1

柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大コア長 (cm)	R Q D [%]	
				花崗斑岩	灰褐	CL'	100	7	0			94.07~94.88m ・アプライトである。 94.88~140.00m ・花崗斑岩である。
					明褐灰		100	4	0			
					D'		100	5	0			
					アプライト	暗緑灰	CL'	100	6	0		
				花崗斑岩	明褐灰	CM'	100	6	0			97.57~97.88m ・締まった土砂状を呈する。 97.85m ・幅1~5mmの赤褐色の鉱物脈を挟む。 97.88~102.35m ・硬質であるが、割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。 ・割れ目沿いに一部砂状を呈する。 102.35~107.40m ・硬質で、割れ目が少なく、柱状を呈する。 ・径2~5mmの暗緑色鉱物が点在する。
					灰褐	CL'	100	10	10			
					にぶい 橙	D'	100	6	0			
					にぶい 赤褐	CM'	100	13	26			
					灰褐	CL'	100	12	12			
					褐灰	CM'	100	6	0			
					灰褐	CH'	100	15	29			
						CH'	100	14	37			
						CH'	100	14	35			
						CH'	100	13	23			
				CM CL	100	14	26					
				CM'	100	11	22					
				CM'	100	9	0					
				CM'	100	9	0					
				褐灰 CL	CH CL	100	20	33				
				暗緑灰 にぶい 橙	CM'	100	10	20				
				灰褐 にぶい 橙	CL'	100	7	0				
				明褐灰 D'	D'	100	4	0				
				灰褐 D'	CL'	100	5	0				
				明褐灰 D'	D'	100	3	0				
				明褐灰 CL'	CL'	100	5	0				
				にぶい 褐	D'	100	3	0				
				にぶい 橙	D'	100	2	0				
				にぶい 黄橙	CL CL'	100	4	0				
				灰褐 CM'	CM'	100	4	0				

H27-B-1

柱状図(120.00m~140.00m)

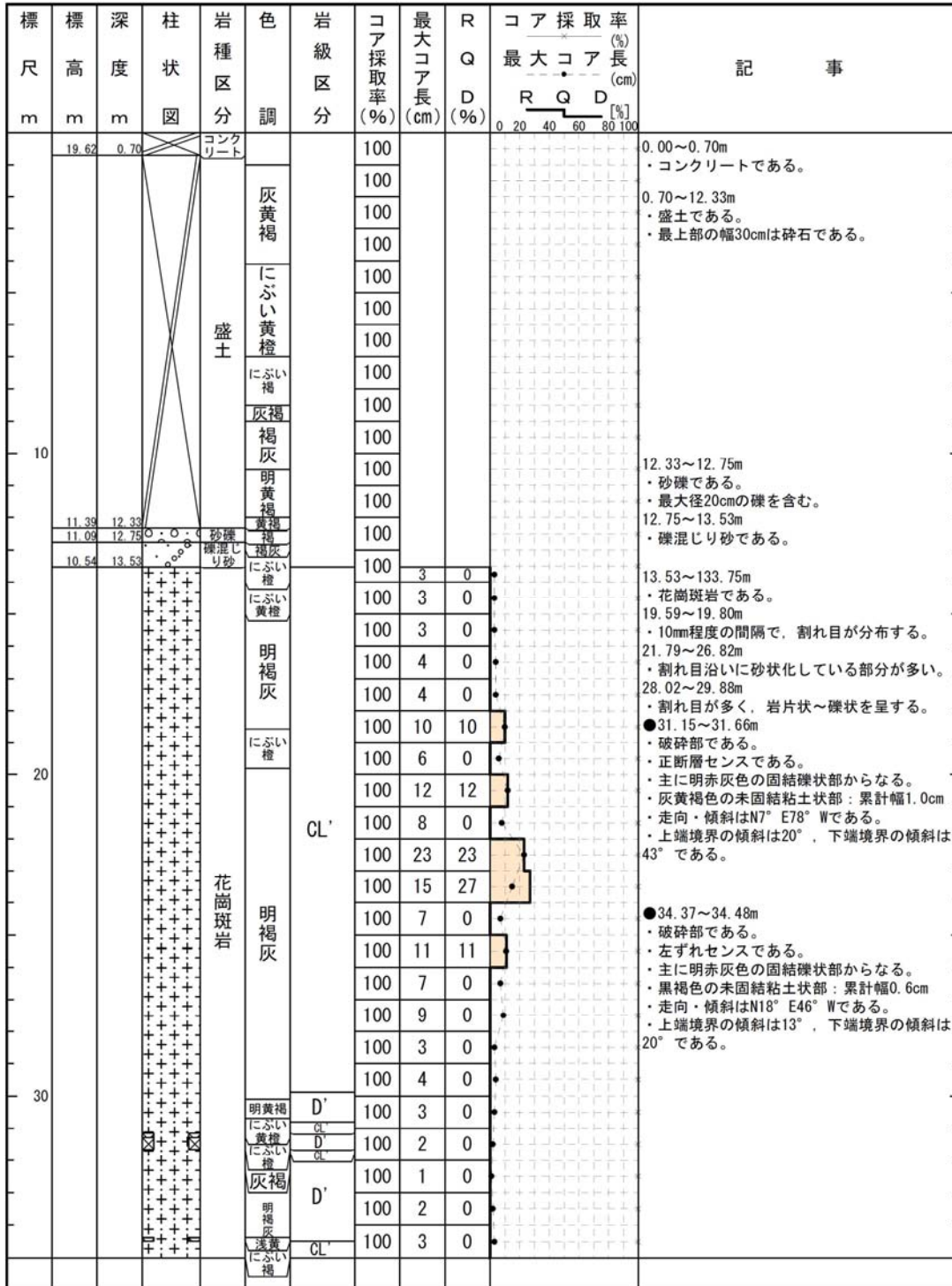
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0 20 40 60 80 100
130	-78.77	140.00	+	花崗斑岩		灰褐	CM'	100	15	25	[Graph showing core recovery and length data for this section]		119.30~138.00m ・硬質であるが、全体に割れ目が多く、岩片状~短柱状を主体とする。
							CH'	100	24	34			
							CM'	100	5	0			
							CM'	100	8	0			
							CL	100	6	0			
							CM'	100	8	0			
						褐灰	CL	100	8	0	125.06~125.28m ・割れ目沿いに細片状を呈する。 ・割れ目には挟在物は見られない。		
							CM'	100	10	10			
							CL	100	9	0			
						にふい 褐 灰黄褐	CL	100	8	0	127.16~127.25m ・径10mm前後の角礫状を呈する。		
							CM'	100	8	0			
						褐灰	CM'	100	11	11	129.91~131.93m ・割れ目が少なく、柱状を呈する。		
							CH'	100	16	26			
							CH'	100	28	53			
							CM'	100	11	11			
							CM'	100	7	0			
							CM'	100	9	0			
						暗緑灰 褐灰	CM'	100	6	0	132.07~132.24m ・珪質化している。 ・径10~20mmの角礫状を呈する。 ・微細な黄鉄鉱が晶出している。 135.80~136.00m ・割れ目沿いに、径10~30mmの細片状を呈する。 ●139.82~139.88m(D-42破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・暗緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN27° E88° Eである。 ・上端境界の傾斜は52°、下端境界の傾斜は52°である。		
CM'	100	11	11										
CL	100	6	0										
CH	100	12	23										
			CL'	100	3	0							

H27-B-2

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-B-2

孔口標高	T.P. 20.11m	掘削長	160.00m
------	-------------	-----	---------



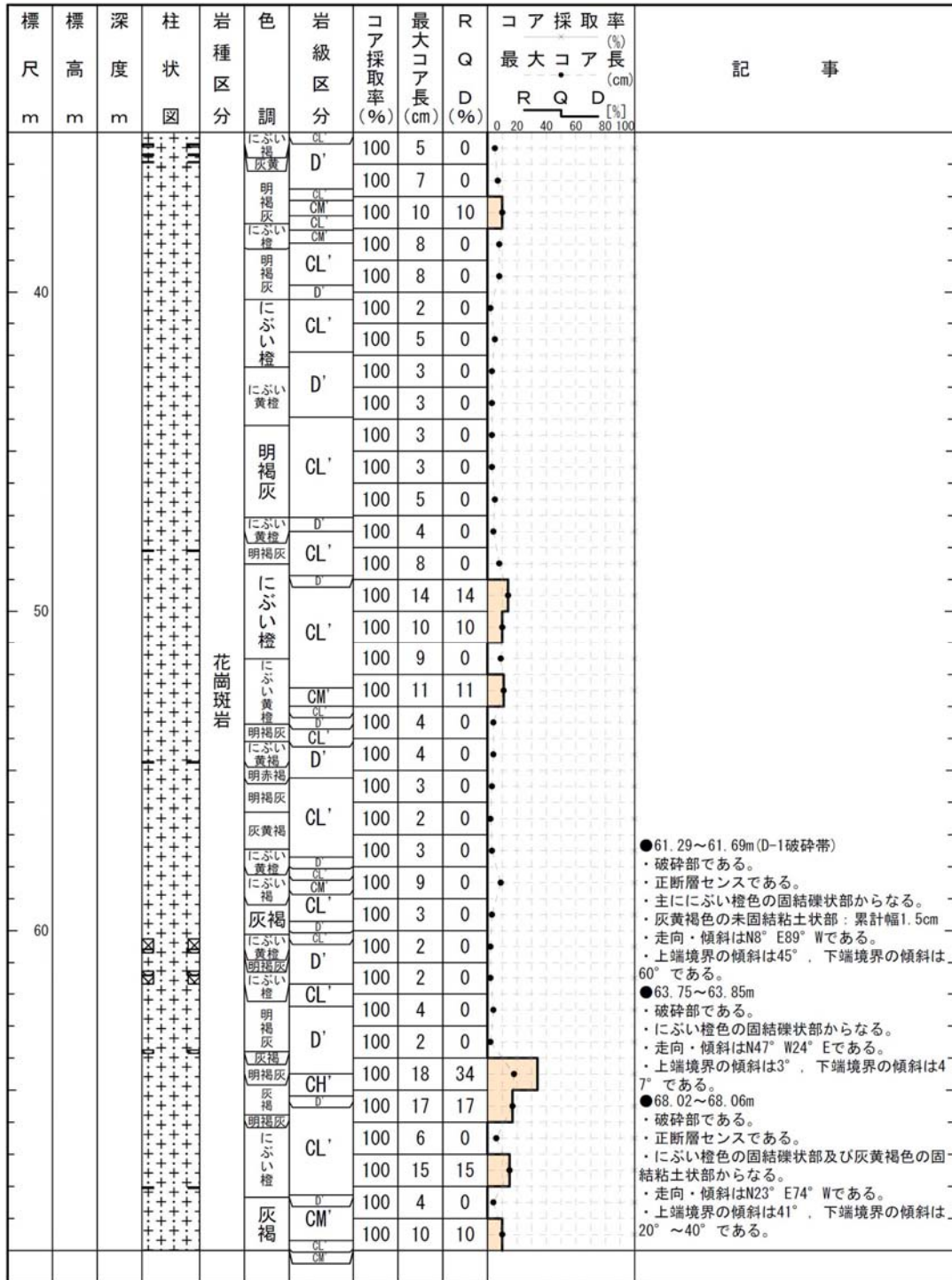
H27-B-2

柱状図(35.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 × 最大コア長 (%) (cm)	記事	
												0 20 40 60 80 100
40			+	花崗斑岩	にふい 褐 灰黄	D'	100	5	0		<ul style="list-style-type: none"> ●35.36~35.46m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰黄色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN69° E79° Nである。 ・上端境界の傾斜は47°，下端境界の傾斜は20°~35°である。 	
						明褐灰	CM	100	10	10		
						にふい 橙	CL'	100	8	0		
						明褐灰	D'	100	8	0		
						にふい 橙	CL'	100	2	0		
						にふい 橙	D'	100	3	0		
						にふい 黄橙	D'	100	3	0		
						明褐灰	CL'	100	3	0		
						にふい 黄橙	D'	100	4	0		
						明褐灰	CL'	100	8	0		
50			+	花崗斑岩	にふい 橙	D'	100	14	14		<ul style="list-style-type: none"> ●35.68~35.73m ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.2cm ・走向・傾斜はN7° W52° Wである。 ・上端境界の傾斜は27°，下端境界の傾斜は12°である。 ●35.92~35.95m ・破砕部である。 ・左ずれ逆断層センスである。 ・灰白色の固結礫状部，固結砂状部及び灰オリープ色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E86° Eである。 ・上端境界の傾斜は35°，下端境界の傾斜は45°である。 	
						明褐灰	CL'	100	10	10		
						にふい 橙	D'	100	9	0		
						にふい 黄橙	CM'	100	11	11		
						明褐灰	D'	100	4	0		
						にふい 黄橙	CL'	100	4	0		
						明赤褐	D'	100	3	0		
						明褐灰	CL'	100	2	0		
						灰黄褐	D'	100	3	0		
						にふい 黄橙	D'	100	3	0		
60			+	花崗斑岩	にふい 橙	CM'	100	9	0		<ul style="list-style-type: none"> ●41.90~43.94m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●47.06~47.50m ・角礫状を呈する。 ●48.08~48.12m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黒褐色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm。 ・走向・傾斜はN38° W15° NEである。 ・上端境界の傾斜は56°，下端境界の傾斜は53°である。 ●51.51~52.42m ・割れ目沿いに砂状化し，一部砂礫状を呈する。 ●54.72~54.77m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・灰褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN8° W79° Wである。 ・上端境界の傾斜は48°，下端境界の傾斜は39°である。 ●57.70~57.99m ・締まった砂状を呈する。 ●59.71~60.00m ・砂状~砂礫状を呈する。 ●60.26~60.69m ・破砕部である。 ・右ずれ逆断層センスである。 ・にふい黄橙色の固結礫状部，固結砂状部及び明褐灰色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・上端境界の傾斜は28°，下端境界の傾斜は27°である。 	
						明褐灰	D'	100	2	0		
						にふい 黄橙	CL'	100	4	0		
						明褐灰	D'	100	2	0		
						灰褐	CH'	100	18	34		
						灰褐	D'	100	17	17		
						明褐灰	CL'	100	6	0		
						にふい 橙	CL'	100	15	15		
						灰褐	D'	100	4	0		
						灰褐	CM'	100	10	10		

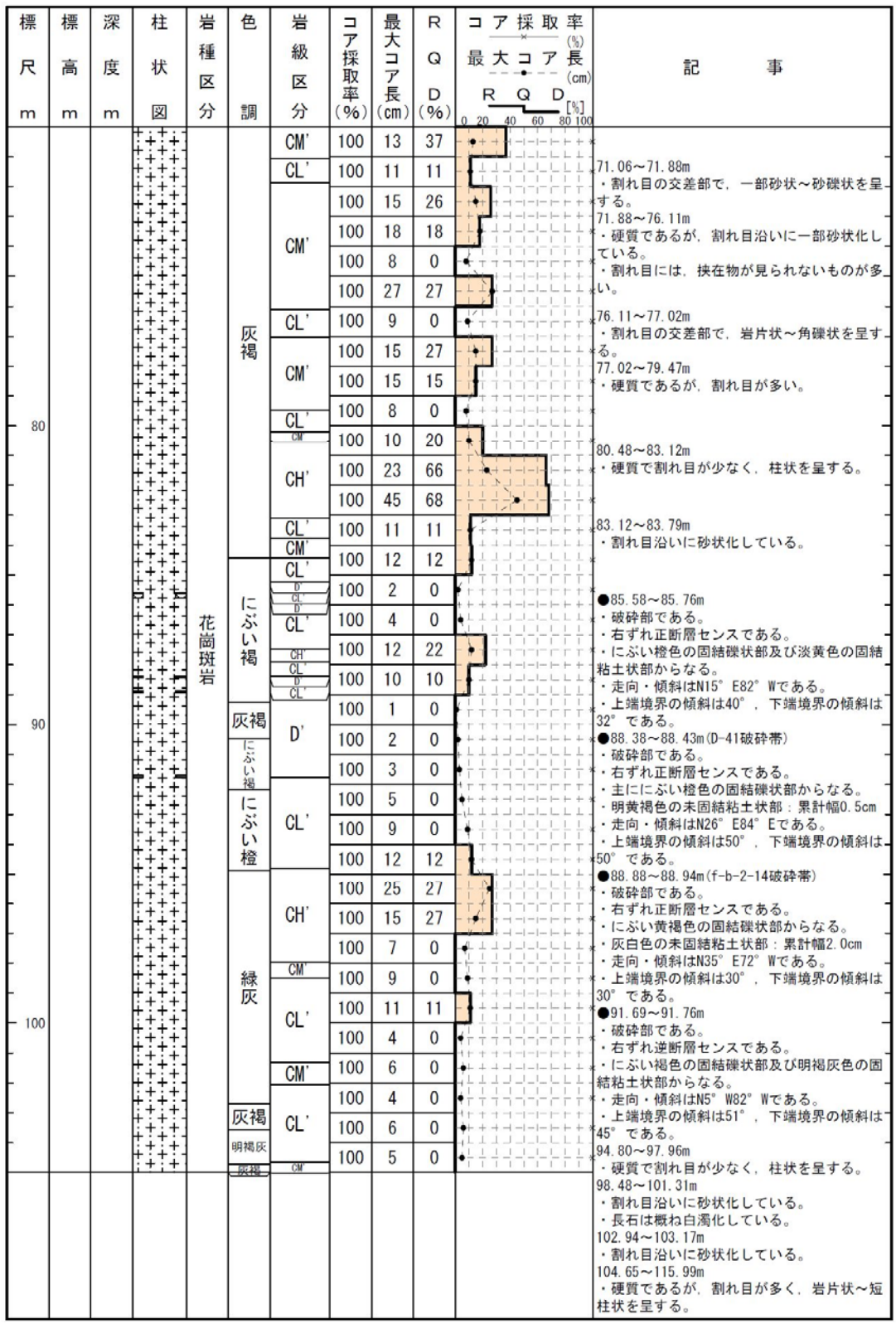
H27-B-2

柱状図(35.00m~70.00m)



H27-B-2

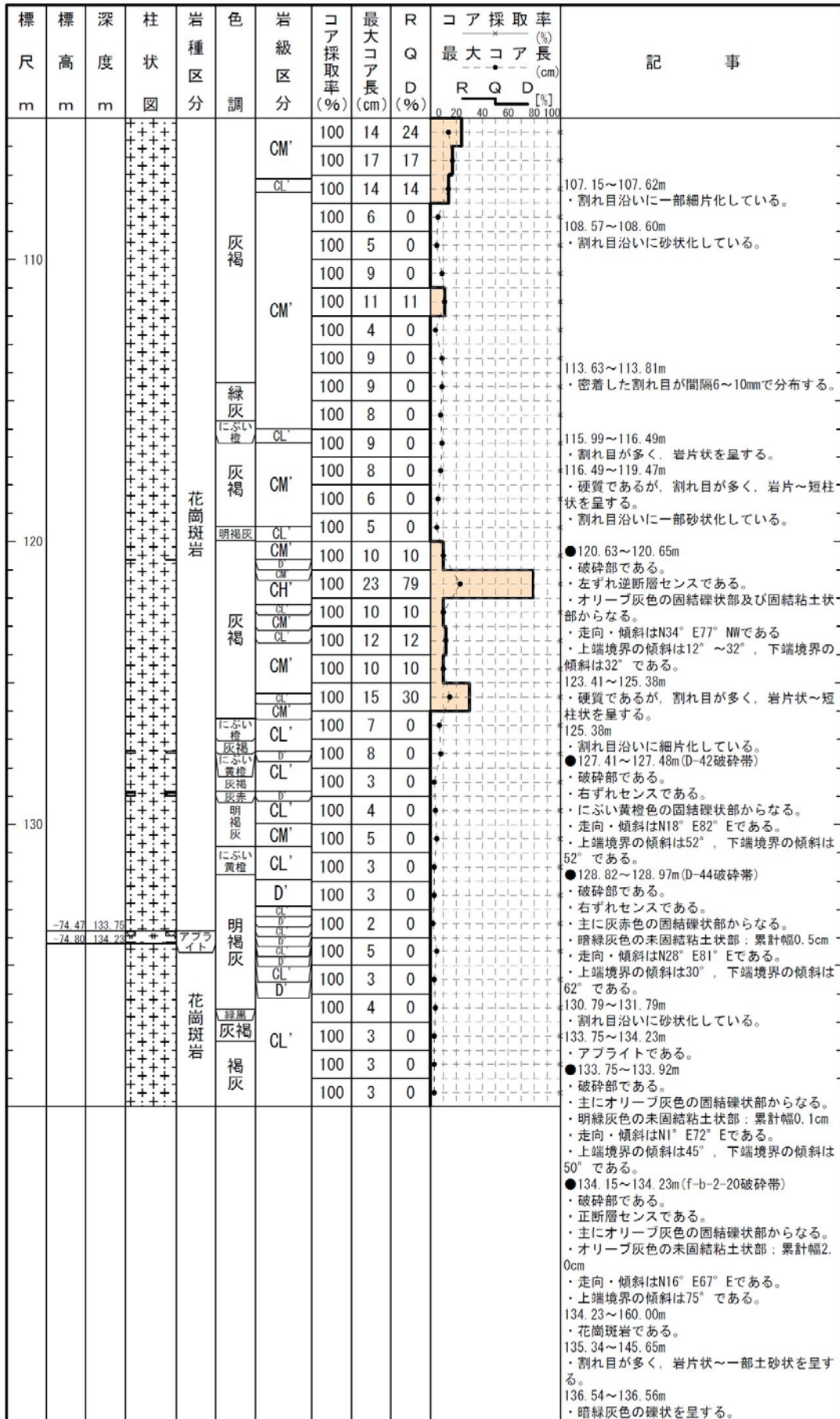
柱状図(70.00m~105.00m)



H27-B-2

柱状図(105.00m~140.00m)

H27-B-2 (4 / 5)



H27-B-2

柱状図(140.00m~160.00m)

H27-B-2 (5 / 5)

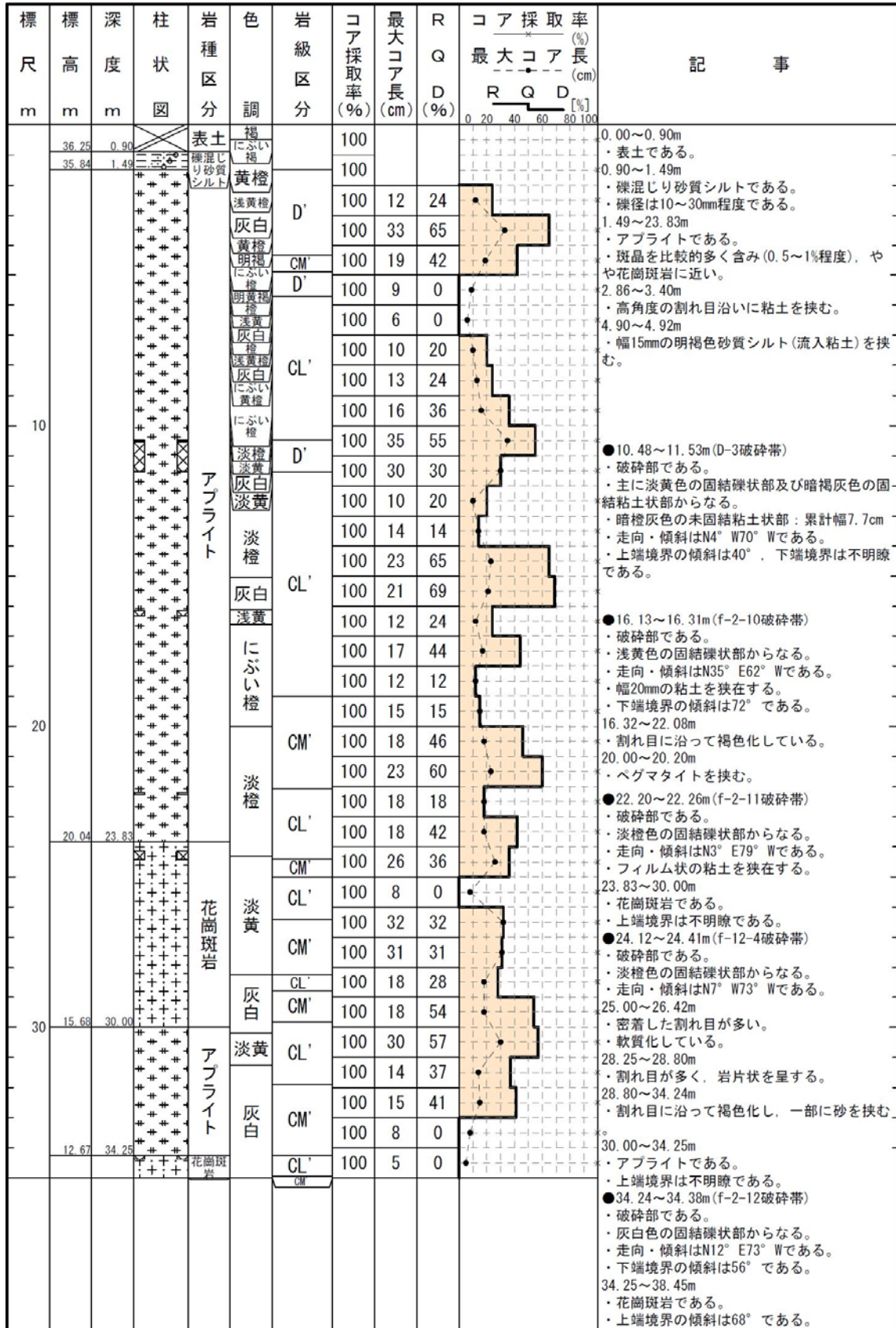
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事	
												0 20 40 60 80 100
150	93.03	160.00		花崗斑岩		褐灰	CL'	100	5	0		141.96~142.23m ・割れ目が細かく交差し、細片化している。
								100	5	0		
								100	4	0		
								100	7	0		
								100	6	0		
						明褐灰	D'	100	3	0		145.65~148.26m ・砂礫状~礫質砂状を呈する。 ・一部灰白~暗緑灰色の粘土脈を挟む。
								100	2	0		
								100	4	0		
						褐灰	CL'	100	6	0		149.19~149.67m ・砂礫状を呈する。 ・灰白色粘土が点在する。
								100	5	0		
						明褐灰	D'	100	4	0		●152.10~152.15m(f-b-2-21破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・暗緑灰色の未固結粘土状部：累計幅0.1cm ・走向・傾斜はN28° E84° Eである。 ・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は55°である。
								100	7	0		
						明褐灰	D'	100	4	0		●154.53~154.71m(f-b-2-22破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・灰赤色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm ・走向・傾斜はN42° E75° Eである。 ・上端境界の傾斜は63°、下端境界の傾斜は65°~80°である。
								100	5	0		
						灰褐	CL'	100	2	0		157.89~160.00m ・割れ目沿いの緑泥石化が著しい。
100	4	0										
緑灰	CL'	100	3	0								
		100	5	0								

H19-No.4

柱状図(0.00m~35.00m)

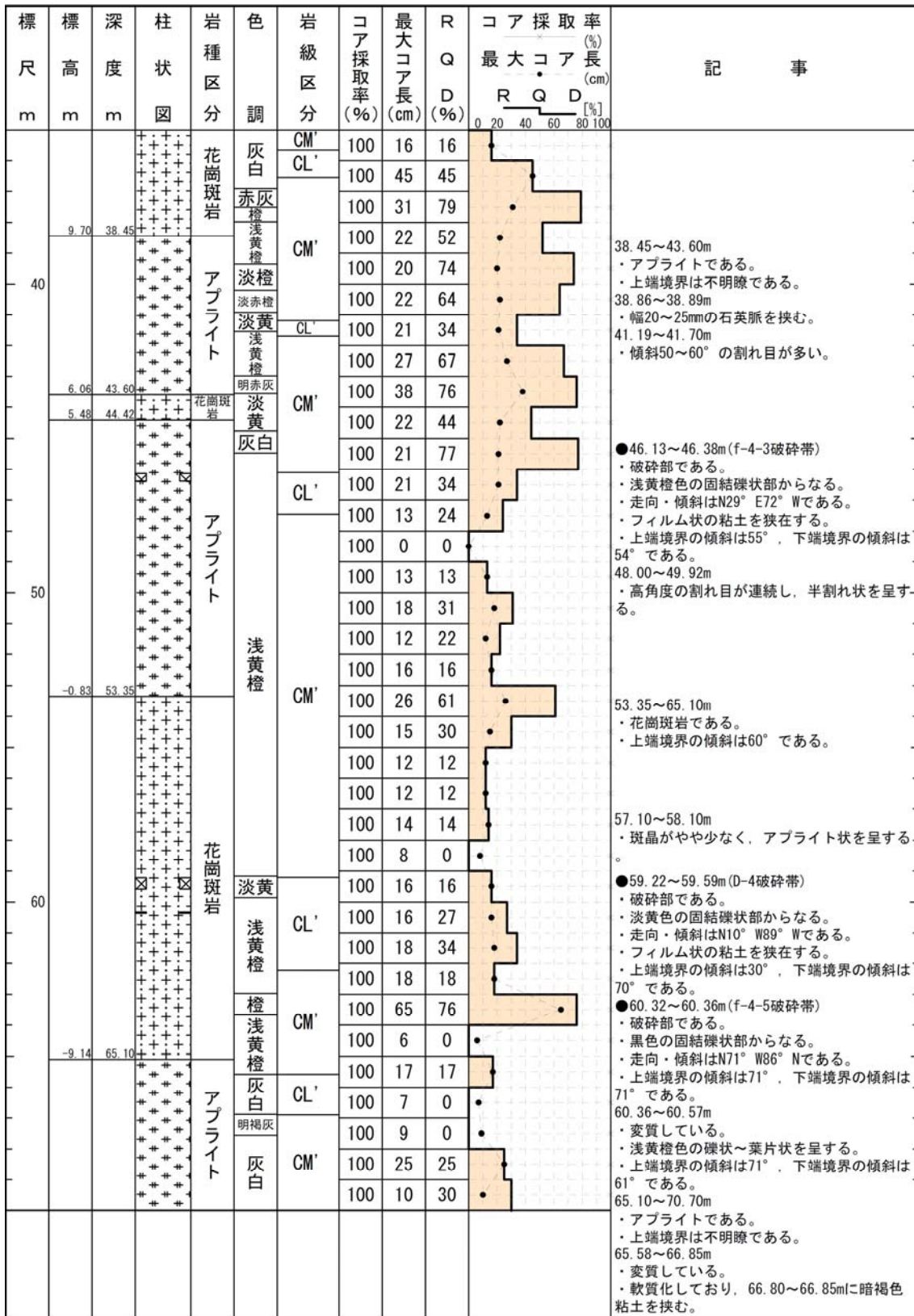
H19-No. 4

孔 口 標 高	T. P.	36.89m	掘 削 長	250.00m
---------	-------	--------	-------	---------



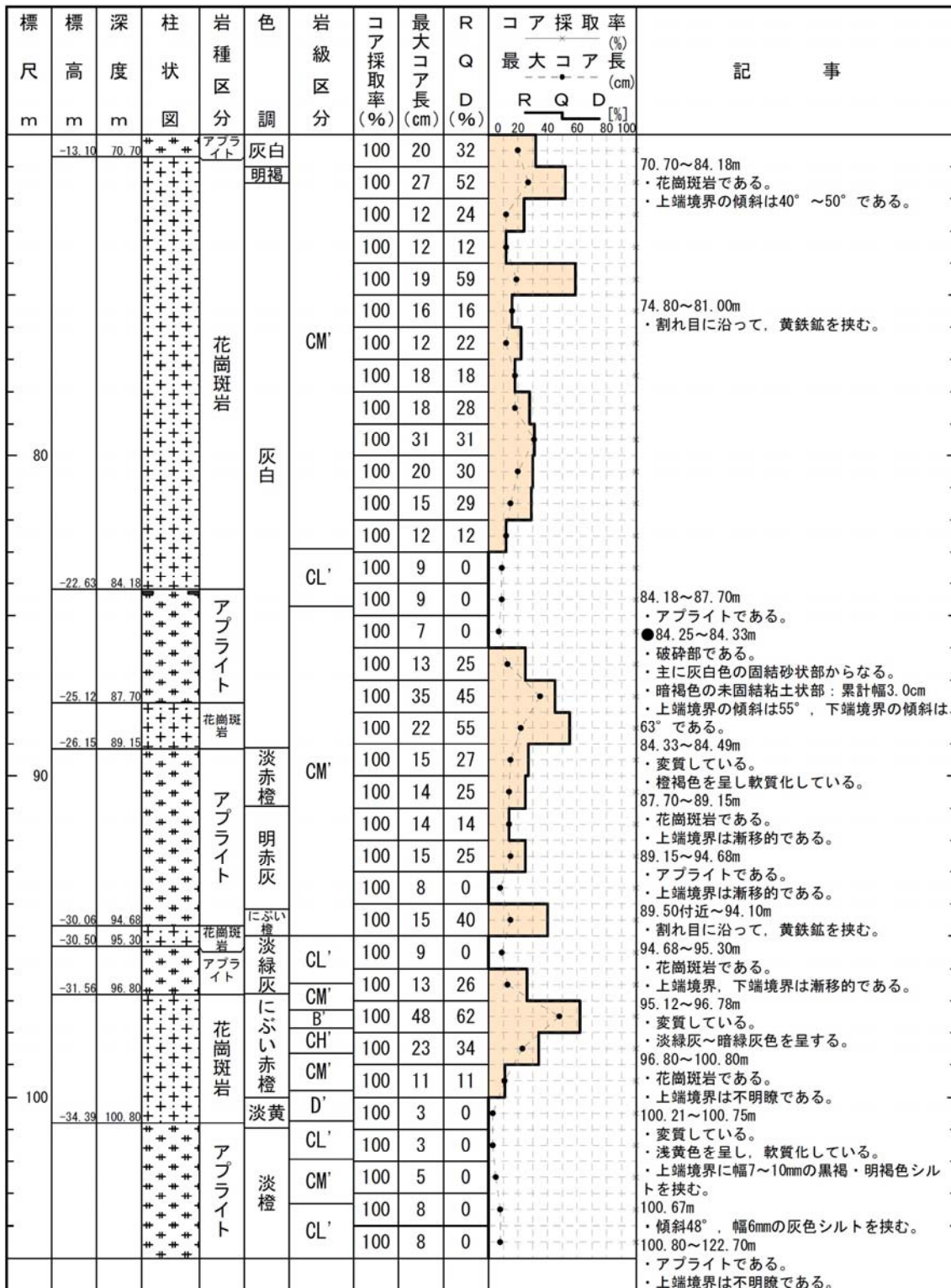
H19-No.4

柱状図(35.00m~70.00m)



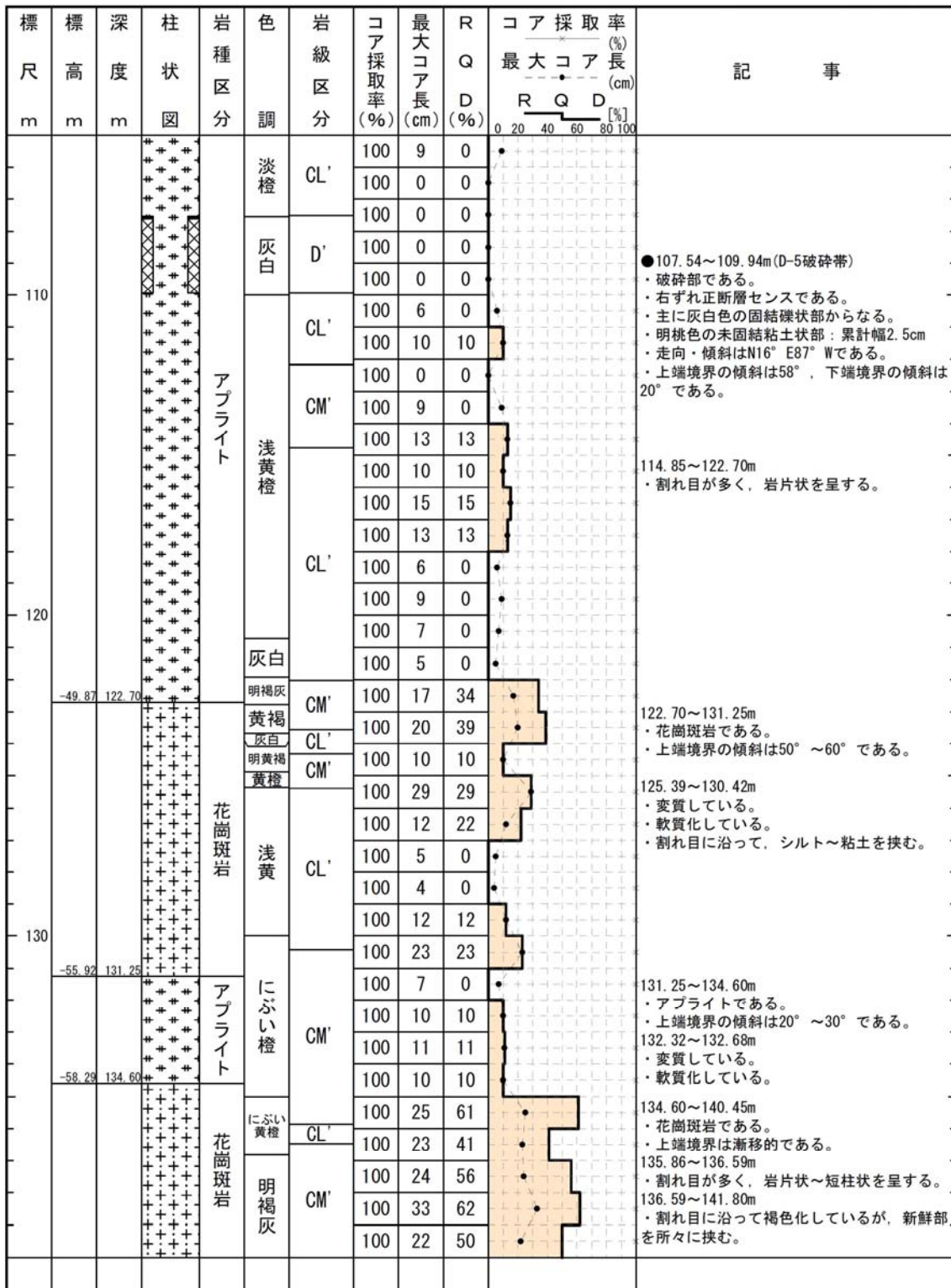
H19-No.4

柱状図(70.00m～105.00m)



H19-No.4

柱状図(105.00m~140.00m)



H19-No.4

柱状図(140.00m~175.00m)

